

WebFOCUS

WebFOCUS リリースノート
Version 8.2.06

WebFOCUSリリースノート

Version 8.2.06

このマニュアルでは、WebFOCUSバージョン8.2.06での製品の制限事項および既知の問題について説明します。

- | | |
|--|--|
| ☐ ブラウザ | ☐ データアシスト |
| ☐ In-Document Analytics | ☐ データアップロード |
| ☐ App Studio | ☐ Webコンソール |
| ☐ BI Portal | ☐ Resource Analyzer |
| ☐ HTML5 グラフ | ☐ Quick Data |
| ☐ InfoAssist | ☐ WebFOCUS国際言語サポート |
| ☐ インストールおよび構成 | ☐ WebFOCUSセキュリティ |
| ☐ マイグレート | ☐ ホームページ |
| ☐ ReportCaster | ☐ デザイナ |
| ☐ WebFOCUS言語 | ☐ インサイト |
| ☐ WebFOCUSグラフ | |

ブラウザ	4
In-Document Analytics	5
In-Document Analyticsのライセンスについて	5
Analytic Documentの既知の問題	5
Analytic Documentグラフの既知の問題	7
Analytic PDFの既知の問題	8
Analytic Dashboardの既知の問題	9
App Studio	9
HTMLキャンバス	9
レポートキャンバス	13
ドキュメントキャンバス	15
その他	16
BI Portal	18
ポータルデザイナー	20
モバイル	20
HTML5 グラフ	21
InfoAssist	22
ビジュアライゼーション	22
グラフ	24
レポート	26
ドキュメント	28
InfoAssistのプロパティ	28
InfoMini	28
インストールおよび構成	29
ReportCaster	29
WebFOCUS言語	30
PCHOLD ASファイル名について	31
XLSX	31
Excel、PDF、HTMLフォーマット	32
-HTMLFORM	35

ダイアログマネージャコマンド	36
-INCLUDEコマンドでの実行について	36
EXコマンドでの実行について	36
マルチドリルダウンについて	37
ACROSSについて	37
site.wfsファイル	37
SET CSSURLについて	37
ラベル名の重複について	37
ページ見出しとページ脚注内のスポットマーカの制限	37
一時項目(COMPUTE, DEFINE)の指定について	38
WHERE条件の注意点	38
WebFOCUS関数	38
SETコマンド	39
JOIN	39
Webビューア	40
-READFILE	40
SQLパススルー	40
Pタイプ項目の演算	41
その他の既知の問題	41
その他の注意点、非互換	42
WebFOCUSグラフ	44
データアシスト	45
データアップロード	45
Webコンソール	46
Resource Analyzer	46
Quick Data	47
WebFOCUS国際言語サポート	47
禁止文字	47
予約語	48
FIELDNAME、ALIAS、TABLENAMEでサポートされる特殊文字について	50

WebFOCUSセキュリティ	52
ホームページ	52
デザイナー	53
インサイト	53

ブラウザ

ブラウザサポートに関する既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Edgeを使用する場合、OLAPコントロールパネル内の表示が崩れます。618228
- ❑ Edgeを使用する場合、HTML5グラフの「アニメーションを1回表示する」にチェックを付けるとアニメーションが動作しません。644194
- ❑ Skype等の電話番号を処理できるアプリがインストールされている端末で、IE11またはEdgeを使用する場合、電話番号と推測される値に自動的にリンクが貼られます。644563
- ❑ Edgeを使用する場合、アドレスバーにlocalhost(マシン名)やIPアドレスを使用してWebサーバ、またはアプリケーションサーバにアクセスしようとした際に、エラーが表示されアクセスできない場合があります。644849
- ❑ IE11を使用する場合、Webコンソールのポップアップまたはダイアログをドラッグ操作するとマウスカーソルに合わせて移動するようになります。747187
- ❑ IE11を使用する場合、Webコンソールで日本語名のマスターファイルのダウンロードを行おうとするとファイル名が文字化けします。746939
- ❑ IE11を使用する場合、テキストエディタからOLAPレポートを実行すると、レポートが縮小され右側に縦スクロールバーが表示されます。748107

In-Document Analytics

In-Document Analyticsのライセンスについて

In-Document Analytics(旧: Active Technologies)とは、Analytic Document(Active Report)、Analytic PDF(Active PDF)のライセンス名です。

V8.2.06では、下位バージョンとの互換性のため旧Active Report(Active PDF)のインターフェースも使用することができます。以下に記載される情報で、「Active Report」または「Active PDF」と記述のあるものは、旧バージョンのインターフェースで発生する問題を意味します。

In-Document Analyticsを使用するためには別途ライセンスが必要です。App Studioは WebFOCUSの開発ツールのため、In-Document Analyticsのライセンスがない場合でも開発・実行することが可能です。ライセンスがない場合、レポートに「In-Document Analytics試用版」のメッセージが表示されます。

Analytic Documentの既知の問題

Analytic Documentの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Androidモバイルデバイス上で、Analytic Documentのグラフを横方向モードで表示した後に縦方向モードに切り替える場合、コンテンツがフルスクリーンモードで表示されます。グラフは画面下部に表示されます。新しいウィンドウモードでコンテンツを実行すると、Analytic Documentグラフはフルスクリーンモードで表示されず、画面右側にグラフが表示されます。

- ❑ [...] (参照) ボタンメニューの [新規作成] オプションを使用して棒グラフを作成する場合、[色] パレットが誤ってディメンションフィールドの件数 (種類) の計算を実行します。また、凡例も色スケールとして表示されます。本来表示されるべき凡例は、項目ごとに色分けされた凡例です。
- ❑ 既存のActive Report (ARVERSION=1) を、Analytic Document (ARVERSION=2) に設定されたAHTMLドキュメントに追加すると、実行時に失敗し、期待されるレポート出力の代わりにJSONテキストが画面に表示されます。
- ❑ Analytic Documentのレポート編集画面で、[グラフ][集約][ピボット] で設定できない集計方法が動作しません。749561
- ❑ Analytic Documentの[集約]と[グラフ]で、演算メニューの「明細」が動作しません747688
- ❑ Analytic Documentの集約で作成したレポートにフィルタを適用し、その後フィルタを解除しても、結果が元に戻りません。747537
- ❑ Analytic Documentではパスワードの設定ができません。747924
- ❑ Active ReportのPivot形式で、「追加(Y)」による項目追加はできません。
557958
- ❑ Active Reportから桁数の大きい数値をExcelにエクスポートすると数値が指数に変換されます。SET AREXPEXCEL=XLSXをプロシ ज्याに指定し、エクスポートするExcelを.xlsx形式に変更することで解消します。563749
- ❑ Active Reportでリストツールでの項目入れ替え後、セルフィルタが正しく動作しません。603747
- ❑ リクエストにACROSSとNOPRINTが指定されている場合、Active Reportで条件付きスタイルが正しく適用されません。642690
- ❑ Active Reportで[変更の保存]で保存する際、ダウンロードにて保存されるよう仕様変更されました。8.2.01M以前では、ディレクトリへの保存でした。748359
- ❑ Active Reportでドリルダウンする際に、DRILLMENUITEMとNOPRINTがBY項目に指定されている場合、正しい値が変数値として渡りません。749512
- ❑ Active Reportで以下の条件を満たす場合に、ページ送りをしたタイミングで[次のデータを取得中...]と見出し内に記載された状態で無反応状態になります。744757
 - ❑ 一定の文字列長を超える項目のデータを出力
 - ❑ CACHELINESの値を超えるデータを表示 (例えばCACHELINESの値が"200"の場合、201件目以降のデータが表示されるページを開いたタイミングで発生)
- ❑ レポートにて、アクティブキャッシュが有効な状態でエクスポートを実行すると、ブラウザ側のレポートの明細がすべて「UnderFined」と表示されてしまいます。750115
- ❑ Analytic Documentは、Microsoft Internet Explorer 11 (IE11) ではサポートされません。IE11を利用する場合は、レガシーAnalytic Document ユーザインターフェースをご利用ください。751414
- ❑ Analytic Documentオプションの[レコードの表示]、[コメント]、[詳細ツール]、[変更の保存]はメニューオプションで有効にされていても動作しません。750861

Analytic Documentグラフの既知の問題

Analytic Documentグラフの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Active Reportフォーマットを使用した場合、垂直(縦)、または平行(横)の箱ひげチャートが正しく動作しません。ひげ(線)が表示されるべき場所に長方形の箱が描写されます。
- ❑ Active Reportフォーマットで作成されたじょうごグラフまたはピラミッドグラフを実行し、Active Chartの「詳細グラフ」オプションを使用して一部のグラフを選択すると、エラーが発生します。
- ❑ Active Reportフォーマットで棒グラフ、折れ線グラフ、面グラフのいずれかを作成し、実行時にグラフ/集約ツールの「詳細グラフ」オプションを使用してグラフタイプを円グラフに変更した場合、凡例の一部の項目が「object Object」と表示され、残りの項目が「Series 1」、「Series 2」と表示されます。この問題は、InfoAssistでフィールドが「色 (BY)」フィールドコンテナに追加されている場合にのみ発生します。
- ❑ グラフモードでActive Reportフォーマットのプロポーショナルシンボルマップ(Leaflet)を作成した場合、「サイズ」フィールドコンテナに配置したフィールド名が凡例領域に2回表示されます。
- ❑ Active Reportフォーマットのロウソク型株価Open-Hi-Lo-Closeグラフを実行すると、株価グラフではなく、棒グラフが表示されます。InfoAssistで株価グラフを作成するには、「グラフの選択」ダイアログボックスで「株価グラフ」タブを選択します。
- ❑ Active Reportフォーマットでボックスプロットを作成した際に、実行時のグラフが正しく表示されません。このグラフのプロパティでは、JSCHART(HTML5)出力フォーマットを使用した場合に表示されるプロパティの一部が欠落しています。
- ❑ アクティブキャッシュが有効な場合、Active ReportまたはActive Chartのグラフ/集約ツールに表示される値が正しくありません。
- ❑ Analytic Documentのグラフ、集約、ピボットで作成した結果を編集すると、ロックが無効になります。[747527](#)
- ❑ Analytic Documentの散布図で[動向(傾向線)]や[整列]を選択してもグラフに反映されません。[747323](#)
- ❑ Analytic Documentで実行中にグラフ出力してからリストに変換すると、エクスポートメニューが表示されません。[747276](#)
- ❑ Active Reportの円グラフをマウス操作で範囲指定すると、意図していない範囲が含まれます。[671031](#)

Analytic PDFの既知の問題

Analytic PDF既知の問題、注意点は次のとおりです。

- ❑ Analytic PDF形式で実行すると以下のエラーが発生します。
(FOC3357) Active Flex レポートのコンパイルエラーが発生しました。Flex SDKが存在しない可能性があります。[749125](#)
- ❑ Analytic PDFフォーマットでは、以下の機能は使用できません。[535429](#)

- ☐ 演算式の初期表示
- ☐ メニューの背景色、境界色、HOVER色、文字色の変更
- ☐ タブ表示への切り替え
- ☐ 「AREXPIRE」および「ARPASSWORD」コマンド
- ☐ マルチドリルダウン
- ☐ Analytic PDFフォーマットのクロス集計レポートでは、ACROSS項目の表示位置がずれます。
452046
- ☐ Analytic PDFフォーマットで、グラフ/集約ツールを利用する際、タグクラウドのサンプルの文字が表示エリアからはみ出して表示されます。589982
- ☐ ボックスプロット（縦または横）グラフが正常に表示されません。590406
- ☐ 縦、主罫線の罫線スタイルを標準以外に変更すると罫線が補助罫線の位置に表示されます。
590421
- ☐ Active Reportがブラウザに表示される前にconnection_limitで設定した値を超えた場合、エラーメッセージが表示されず、空白のブラウザが表示されます。
WF8008-124
- ☐ 折れ線グラフ、ミッシングデータを「ゼロ表示」、出力タイプ: Active PDFの条件で実行すると折れ線グラフが崩れて表示されます。663994
- ☐ Analytic PDFを使用する場合、グラフのページ見出しにはフィールド名が表示されません。
WF8201-45
- ☐ Active PDFを使用する場合、その他のフォーマットと比較して、グラフのページ見出しとページ脚注の背景色の適用範囲が異なります。670467
ページ見出し: 1行に背景色が適用されます。
ページ脚注: 入力文字列に背景色が適用されます。
- ☐ Analytic PDFを使用する場合、折れ線グラフでは、マーカーが全て同じになります。670540
- ☐ Adobe Reader XIを使用する際に、Analytic PDFで表示されない場合があります。603126
- ☐ 以下の機能はAnalytic PDFでは未サポートです。499738
 - ☐ マルチドリルダウン
 - ☐ AREXPIRE
 - ☐ ARPASSWORD

Analytic Dashboardの既知の問題

Analytic Dashboardの既知の問題は次のとおりです。

- ☐ Analytic Dashboard のコントロールに ARFILTER_ONCHANGE = ONを指定しても正常に動作しません。589136

App Studio

HTMLキャンバス

HTMLキャンバスの注意点、非互換、既知の問題は次のとおりです。

注意点と非互換

- ❑ 静的パラメータ付きレポートを挿入した場合「選択なしの値」を追加しても動作しません。動作させるためには、プロパティパネルを開き、「選択と検証」から「必要/検証なし」を選択してください。589652
- ❑ シングルソースツリーコントロールのデータタイプを動的に指定する場合、マルチディメンションデータソース (例、SAP BW、SQL Server Analysis Services) から値を挿入する必要があります。671243
- ❑ 新規パラメータダイアログで、コントロールタイプに「HTMLテーブル」か、「罫線」は選択しないでください。「HTMLテーブル」と「罫線」はMAINTAIN用のメニューです。599310
- ❑ App Studioで作成される検索コントロールで「部分一致」を行うには検索メニューから「大文字と小文字の区別」を選択してください。606130
- ❑ HTMLキャンバスで作成したHTMLで、画面項目の入力確認を行う機能をJavaScriptで実装した場合、入力チェック後にプロシジャが実行されます。Developer Studioで作成したHTMLファイルでは、入力チェック後にプロシジャが実行されませんでした。606347
- ❑ ガイデッドレポートを作成する際、項目タイトルを変更していても、ガイデッドレポートでは有効になりません。HTMLキャンバス側のプロパティなどを指定することで対応可能です。607047
- ❑ 使用するドキュメントのテーマによってはアニメーションのタイプ「パーセント単位で縮小/拡大」が動作しない場合があります。639311
- ❑ HTMLキャンバスの「メニュー」機能について、マニュアル上はMaintain用の機能となっていますが、HTML、プロシジャの呼び出し用メニューとしても利用は可能です。643767
- ❑ HTMLキャンバスにて、ドロップダウンリストのスタイル属性から[高さ]を設定して実行しても高さが変わりません。691293
- ❑ HTMLキャンバスにて、コントロールタイプの設定を[シングルソースツリー]または、[マルチソースツリーコントロール]に変更するとコントロールとは異なるコンポーネントに変更されます。691023
- ❑ HTMLキャンバスにて、テキスト領域を検索条件に使用する際、テキスト領域の値を削除した状態で実行するとリストの1行目に表示されていた値が条件として設定されます。691450
- ❑ App Studioで更新インストールを行うと、プロパティパネルなどが英語表示になり言語設定を再度行う必要があります。690234

App Studioのオプションより、言語設定を英語に切り替えてApp Studioを閉じます。再度、App Studioを起動して、言語設定を日本語に変更してApp Studioを再起動することで言語が戻ります。

- ❑ ラジオボタンで受け渡す値に“すべて”を指定すると、“すべて”という文字列が渡らず、他のラジオボタンの値が渡ります。676006
- ❑ HTMLキャンバスで、コントロールの「タブインデックス」の値を“-1”に設定してもプロパティに保存されません。749551
- ❑ HTMLキャンバスで、コントロールを挿入した際、オブジェクトのinputが選択できません。749550
- ❑ HTMLキャンバスでフォームのプロパティで、メソッドやターゲットの指定はできなくなりました。749545
- ❑ ポップアップスタイル利用時に単一選択のリストボックスはラジオボタンとなり、複数選択のリストボックスはチェックボックスとなります。749135
- ❑ HTMLキャンバスで、プロシ ज्या内で設定されている[最小値]と[最大値]はスライダコントロールの値に引き継がれません。748343
- ❑ App Studio の HTMLキャンバスで作成したチェックボックスの間隔が短くなっています。748081
- ❑ App Studio で、テキストボックスにスタイルダイアログから箇条書き(リスト)を設定しても反映されません。747559
- ❑ ダブルリストコントロールのあるHTMLを実行すると、ダブルリストコントロールの表示がライブプレビューの表示と実行結果で異なった表示となります。746546
- ❑ App Studioのテキストボックスオブジェクトからボタンオブジェクトへ[タイプ]の変更ができなくなりました。750883

既知の問題

- ❑ 静的パラメータ付きレポートを挿入した際にコントロールに「シングルソースツリーコントロール」を選択すると、設定パネルの値が表示される個所に不要なデータが表示されます。589041
- ❑ 設定パネルの“値”を変更後、画面の入力欄をクリックすると値が画面の値にコピーされたように動作しますが、画面の値には反映されません。589045
- ❑ Windows7に導入されているApp Studioで作成したHTMLをMicrosoft Edgeで表示すると、ラベルが意図しない位置で折り返されて表示されます。WF8105-54
- ❑ タスクとアニメーションタブからスケジュールレポートリクエストを作成しても、スケジュールできません。589886
- ❑ テキストオブジェクト内の文字の上下位置を変更することはできません。589892
- ❑ スライダーコントロールを使用する場合、ステップ数の値に最大値よりも大きい値を指定するとHTMLファイル実行時に、値の入力欄に最大値よりも大きい値を入力でき、実行可能になります。590045
- ❑ プロパティパネルの「リストスタイルイメージ」の「…」ボタンをクリックしても正常に動作しません。590054
- ❑ 背景スタイル・境界スタイルのプロパティの色の設定が有効になりません。590055
- ❑ ラジオボタンに「クリック時」のトリガを設定した場合、ラジオボタン内の選択マークが表示されません。チェックボックスも同様の動作になります。591047
ただし、動作に問題はありませぬ。選択した値で正常に実行されます。
- ❑ テキスト領域のプロパティのテキストの折り返し「ハード」は設定しても有効になりません。670301

- ❑ 「パラメータ」タブの「すべてのバインディングを解除」を選択するとコントロール同士のバインドのみが解除され、コントロールとパラメータのバインドが解除されません。670363
- ❑ 8.2.01以降では、F5キーでレポートやHTMLの実行がレポートキャンバスやHTMLキャンバスで行えるように仕様変更されました。670367
- ❑ 出力ビューアの設定を「内部ビューア」に設定し、HTMLキャンバスでスケジュールボタンが含まれるHTMLを作成し、スケジュールボタンをクリックすると、空白のページが表示されます。670545
- ❑ オートドリルダウンレポートを「既存レポートのインポート」で挿入して使用しても正常に動作しません。670652
- ❑ ターゲットタイプ、Analytic Documentのリフレッシュが動作しません。670814
- ❑ 動的パラメータ付きレポートのコントロールをラジオボックスかチェックボックスに設定して実行すると、縦にコントロールが詰まった状態で表示されます。671807
- ❑ テキストオブジェクトのプロパティ設定で、「スタイル属性」-「フォント」-「外枠」または「スタイル属性」-「境界」-「境界」の設定ができません。(色、幅、スタイルの各設定値が反映されません) 670835
- ❑ ラジオボタンに「クリック時」のトリガを設定した場合、ラジオボタン内の選択マークが表示されません。チェックボックスも同様の動作になります。ただし、動作に問題はありません。選択した値で正常に実行されます。591047
- ❑ 画面左右にある各パネルのピンにマウスオーバーすると、ピン固定の有無に関係なく同じメッセージが表示されます。594188
- ❑ ボタンに対して、onClickイベントの関数を割り当てる際に指定した関数名が、実行したタイミングで非表示になります。602495
- ❑ スライダーコントロール(ダブルヘッド)で選択した条件(フォームの値)は、選択の保存が有効になりません。608354
- ❑ テキスト領域には条件保存した値が表示されません。608586
- ❑ 出力ビューアをChromeに設定すると、HTMLファイルを実行するとエラーメッセージが表示され、Chromeが起動しません。612915
- ❑ HTMLファイルをChromeで実行すると、出力結果が表示される直前にXMLコードとエラーメッセージが表示されます。613653
- ❑ 日本語ファイル名の画像ファイルを指定すると画像が表示できません。(×マークが表示されます) 618143
- ❑ HTMLファイル作成時にダブルリストコントロールを配置し、ダブルリストコントロールに横スクロールバーを表示させた際に IE11では横スクロールバーが動作しません。Chromeを使用する場合は正常に動作します。657840
- ❑ カレンダーの設定パネルにて、「フォーマットなしの値を送信」をオンまたはオフで実行しても、カレンダーで選択した値には「YYYY/MM/DD」(スラッシュ有)で表示されます。658080
- ❑ スタイルダイアログでインデントを設定すると、インデントが最初の行にしか反映されません。658091

- ❑ スタイルダイアログでテキストオブジェクトの上下左右をトリミングすると、テキストオブジェクトが非表示になります。658093
- ❑ 地図にフィールド値を使ってラベル表示させる場合、フィールド名を指定する必要があります。エイリアス名の使用はサポートされていません。749546
- ❑ HTMLキャンバスで作成したHTMLページ内でリセットボタンをクリックすると、CPU使用率がDeveloper Studioで作成したHTMLページ内でリセットボタンをクリックした場合に比べて上昇しやすいです。そのため、リセットボタンを連続で20回ほどクリックすると動作しなくなる場合があります。625289
- ❑ テキストボックスの値がignore(すべて無視)に設定されている場合、8.1.05Mでは値が渡らなかったが、8.2.01以降では_FOC_NONE(または_FOC_NULL)が渡るようになりました。675245
- ❑ HTMLキャンバスにて、マルチソースツリーコントロールのプロパティより[すべての子を選択]の設定を[はい]に設定しても子のチェックボックスの値がチェック(選択された)状態になりません。689892
- ❑ HTMLキャンバスにて、ラジオボタンの設定より[表示イメージを追加]を設定時、各項目のファイルを開くダイアログを表示後、値の設定リストがグレースアウトします。691264
- ❑ HTMLキャンバスにて、特定コントロール(テキスト領域、スライダー)で連鎖を設定し、[選択と検証]を設定した場合、正常に動作しません。690194
- ❑ HTMLキャンバスにて、スライダー系のコントロールを使用時、リセットボタンを押下してもスライダーバーのつまみの位置が初期の位置に戻りません。691216
- ❑ HTMLキャンバスにて、[色の選択]ダイアログからWebパレットの一番下の行の色が指定できないことがあります。691450
- ❑ HTMLキャンバスにて、アニメーションの設定から、特定のアニメーションを実行すると選択したターゲットの表示位置が実行ごとに変わります。WF8201-201
- ❑ HTMLキャンバスにて、スライダー(縦)のテキストボックスがコントロール内の枠からはみ出して表示されます。691450
- ❑ HTMLキャンバスにて、テキストボックスの[タイプ]を[実行]または、[リセット]に設定後に再度[タイプ]をテキストに変更した場合、テキストボックスに固定値が残ります。690759
- ❑ HTMLキャンバスにて、ドロップダウンリストの[選択と検証]を“検証あり”で設定時、ドロップダウンリストの値を“- 選択してください -”に変更時にバリデーションチェックが入りエラーメッセージが表示されます。691287
- ❑ HTMLキャンバスにて、フレームより[境界スタイル]から設定を[なし]に設定しても境界線が非表示にならない。691356
- ❑ HTMLキャンバスで、[ターゲットのタイプ]から[スケジュール]を選択して実行してもスケジュールダイアログは表示されません。691356
- ❑ IE11でダブルリストコントロールにポップアップスタイルを適用するとすべてのボタンが左側のボックス左側に集約して表示されます。749139
- ❑ HTMLキャンバスでカスタムロード画面を使用する時、HTMLファイル名が日本語だとエラーとなります。748344

- ❑ HTMLキャンバスで追加したタブまたはアコーディオンをコンテナをIE11使用時にページ切り替えを行うと「このページを再表示するには～」のアラートが表示されます。748005
- ❑ HTMLキャンバス:スタイル属性-境界の設定で境界スタイルのプロパティダイアログからの設定が反映されません。747933
- ❑ テキストのスタイル属性>縦が動作しません。747859
- ❑ App Studioで作成したHTMLファイルより、フレームとカレンダーを使用しHTML画面よりカレンダーを選択するとカレンダーの表示が崩れて表示されます。747814
- ❑ App Studio でラジオボタンのタイプ:プッシュボタンを変更し、色付けしたHTMLを実行すると色が判定されません。746949

レポートキャンバス

レポートキャンバスの非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

注意点と非互換

- ❑ 親子階層のマスターファイルを使用すると、フィールドタブの階層表示が有効になります。670787
- ❑ フィルタ設定で、文字タイプの前ゼロを含む数字データに対して、比較タイプとして「パラメータ」、変数タイプに「指定範囲」を設定して実行すると、オートプロンプトで表示される値は前ゼロがサブレスされるため、フィルタが正しく動作しません。(0件検索となります)670917
変数タイプの指定範囲には、数値タイプデータを使用してください。
- ❑ データサーバ配下でオートドリルダウンが有効になりません。670836
- ❑ 一時項目(COMPUTE)の関数パラメータダイアログにて、DECODE関数の設定から[実際の値]、[表示する値]を選択時にキーボードの↑ボタンを押下すると 項目の移動が前に戻らず先に進んでしまいます。748449
- ❑ レポート見出しやページ見出しのテキストは仕様上BOLDとなります。748349
- ❑ カンマ付きの数値項目は外観タブ → カンマでオンオフができません。748347
- ❑ レポートキャンバスのマトリックスタブで、BARダイアログで設定した線が反映されなくなりました。747739
- ❑ フィールド名の先頭文字列が共通な複数のフィールド(例:「ST」と「STID」等)が存在する場合で、レポートキャンバスでフィールド「ST」を指定したレポートを作成、保存後、マスターファイルを編集し、フィールド「ST」を削除すると、再度レポートキャンバスでレポートを開くと、フィールド「ST」が「STID」に自動的に置き換わる動作となります。738056
- ❑ App StudioからGUIで演算接頭辞を設定するとAS句で列タイトルが自動的に設定されてしまい、SET PRFTITLEコマンドが効きません。ソースのAS句を手動で削除してください。749863

既知の問題

- ❑ フォントサイズの制限(128ポイント)は正常に動作しません。589656
- ❑ レポートキャンバスでは、選択条件の解除(無効化)はできません。選択条件を無効にするには選択条件を削除してください。選択条件の解除はInfoAssistで行えます。590046

- ❑ 出力フォーマット(SAME_DB)を設定し、テーブルの持続タイプを「GLOBAL_TEMPORARY」に設定して実行した場合、エラーが表示されます。669815
- ❑ App Studioで作成したActive Reportに表示されるピアグラフの色について、正の数の場合のピアグラフが、Active Reportのオプションで設定した色となりません。670984
- ❑ 目次とポップアップ説明を有効にすると、目次を表示した際に目次パネルをドラッグで移動できません。407124
- ❑ COMPUTE項目の関数「DPART」に入力した値が反映されません。WF8105-175
- ❑ IN-GROUPS-OF、IN-RANGES-OFの設定画面で、引数の「制限値」を変数にした場合に、実行時にエラーになります。602770
- ❑ -INCLUDEで呼び出すプロシジャに-HTMLFORMが含まれている場合に当事象は発生します。620437
- ❑ レポートキャンバスで作成したOLAPレポートから、名前を付けて保存ができません。626417
- ❑ レポートにイメージを表示する際に、イメージをマウスオーバーしたときにポップアップメッセージが表示されません。639741
- ❑ レポートのアクセシビリティの設定を有効にすると、BY項目の重複項目が表示されます。748105
- ❑ 出力フォーマット「ユーザ」を利用した場合の説明部にAnalytic Document(&A)、Analytic PDF(&D)といったように余計な文字列が付与されます。746970
- ❑ レポートキャンバスにイメージを挿入後のプレビュー画面の表示と実行結果が異なります。746335
- ❑ App Studioを使用してレポートを作成時、オブジェクトインスペクタにある[イメージ]タブを選択すると、コピー＆ペーストがPC上で使用できなくなります。751591

ドキュメントキャンバス

ドキュメントキャンバスの非互換と注意点、既知の問題は次のとおりです。

注意点と非互換

- ❑ ドキュメントキャンバスで、テキストに挿入できるメニュー一覧から「日付」、「ページ番号」等のメニューが表示されません。602457
- ❑ ドキュメントキャンバスで出力フォーマットを[ユーザ]とし、[Power Point]を選択して実行するとPPT形式となりエラーが表示されます。749548
- ❑ ドキュメントキャンバスで、レポートを挿入し、既存プロシジャを参照もしくはインポートした後、別のプロシジャに変更しようとする初期表示にリセットされます。初期表示になってしまった場合は、レポートを削除して新規にレポート挿入して既存プロシジャを参照します。747344
- ❑ UTF8環境のドキュメントキャンバスでデフォルトフォント(MSゴシック)のまま[ページ n/n]を挿入すると文字と数字が重なってしまいますので、フォントを変更してください。MSPゴシック、MS UI Gothic、メイリオなどでは正常に表示されます。747324

既知の問題

- ❑ ドキュメントキャンバスで、ドリルスルーのソースを「最初」に設定した場合、レポートがエラーになります。606299
- ❑ ドキュメントキャンバスのz-indexプロパティは、複数のコンポーネントや複数のオブジェクトで機能します。そのため、オブジェクトとコンポーネントのような異なる組み合わせの場合、z-indexの設定は有効になりません。また、すべてのオブジェクトはコンポーネントの全面に表示されることが正しい動作となります。669952
- ❑ ドキュメントキャンバスでは、任意のグラフを2つ挿入してから、複合ドキュメントのプロパティにて単位を「ポイント」にして実行するとエラーが表示されます。671805
- ❑ ドキュメントキャンバスでイメージに指定したポップアップが表示されません。690184
- ❑ ドキュメントキャンバスで出力フォーマットがDHTMLの場合、テキストの黒丸や番号が表示されません。690902

その他

- ❑ ドメイン配下で作成したHTMLファイルを、他のフォルダに移動して実行しても、実行中のまま内容が表示されません。687808
- ❑ ソース管理に追加する際、[サブフォルダを含める]にチェックを入れてもサブフォルダが追加されません。691326
- ❑ グラフツールで、SUM項目に条件付きスタイル設定でドリルダウンを指定する場合、マルチドリルダウンを作成すると、ポップアップが表示されずドリルダウン先が選択できません。690755
- ❑ App Studioでグラフィクエストの「-*IA_GRAPH_FINISH」の前にダイアログマネージャを指定するとグラフが編集できません。676446
- ❑ プロシジャビューで JOIN後にレポートを作成する場合、マスターファイル選択ダイアログで JOINしたマスターファイルと同じ名前のデータが表示されます。588805
- ❑ App Studioのアプリケーションオプションメニューの「最近使ったファイル数」はアプリケーションオプションメニュー内の、最近使ったファイルには反映されません。590048
- ❑ App Studioのグラフツールで利用できる出力方法は以下の2種類のみです。588975
 - ❑ 新規ウィンドウで実行
 - ❑ 同一ウィンドウで実行
- ❑ Windows10にてApp Studioを使用する際に、「解像度」(1920x1200)、「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」(150%)に設定されている場合、App Studioのメニューの文字切れが発生する場合があります。「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」(100%)に設定することで文字切れなくメニューが表示されることを確認しています。669800
- ❑ App StudioからWebFOCUSに接続する際にIWA認証を利用している環境で、Chromeに表示される認証ダイアログを2回キャンセルするとApp Studioが応答不能になります。670177
- ❑ App Studioのグラフツールのフィルタ設定で、F2キーをクリックしてフィルタの式の編集ができません。670839

- ❑ App Studioでシノニムエディタのモデル表示をし、任意のファイル同士をJOINする場合、矢印の右クリックメニューからJOINの設定ができない場合があります。670840
- ❑ App StudioでフォーマットPNGの折れ線グラフ作成時にライブプレビュー上で、グラフを右クリックしてもメニューが表示されません。670906
- ❑ App StudioのグラフツールでフォーマットHTML5のグラフ作成時に、データラベルの位置で「中央背面」と「上」を選択した際にどちらも同じ位置に表示されます。670977
- ❑ App Studioのグラフツールではアクセシビリティが有効になりません。602431
- ❑ App StudioのグラフツールではPNGフォーマットを出力の際に、ミッシングデータの補間線を使用するとエラーが表示されグラフを表示できません。602434
- ❑ App Studioのグラフツールで、Active Report出力を行う場合、参照線は任意の位置に表示できません。602482
- ❑ App Studioのグラフツールで、散布図やバブルグラフ指定時に四分線を設定するメニューが表示されません。602500
- ❑ App Studioのグラフツールでは「ホーム」タブには「レイアウト」メニューが表示されません。627331
- ❑ Reporting ServerをセキュリティモードOPSYで起動している場合、動的パラメータ付きレポートを含む HTML ファイルを URL 実行するとログイン画面で認証がパスできず HTML を表示できません。594801
- ❑ WebFOCUS 管理メニューからReporting Serverコンソールのログインダイアログを起動すると、キャンセルを押しても再度ログインダイアログが表示されます。606284
- ❑ WebFOCUS 管理メニューで、管理者権限を持たないユーザでログインしている場合、管理コンソール選択時に403エラーが表示されます。606288
- ❑ WebFOCUS 管理メニューで、管理者権限を持たないユーザでログインしている場合、ReportCasterコンソール選択時に403エラーが表示されます。606291
- ❑ App Studioの「Webアプリケーション」フォルダでは、htmlファイルをテキストで開き、編集が可能です。HTML、CSS、その他webコンポーネントについてテキスト編集可能です。ただし、テキスト編集したHTMLはHTMLキャンバスで開けなくなる場合がありますのでご注意ください。588902
- ❑ App StudioではAPPLOCKが使用できません。618213
- ❑ App Studioのグラフツールで「基軸(SUM)」、「円項目」、「カテゴリ」にそれぞれ項目を追加した円グラフを作成し保存した円グラフを開きなおすと、「円項目」に追加した項目が「カテゴリ」に移動してしまい、保存時と異なった円グラフが描画されます。660884
- ❑ 8.2.01M以降では、シノニムエディタでビジネスビュー作成時に「新規フォルダ」を選択するメニューが無くなりました。670353
- ❑ App Studioのグラフツールではスライサタブが廃止されました。670837
- ❑ App Studioを使用する際には、ヘルプウィザードを使用しないでください。749547
- ❑ App Studio+Edgeで[ブラウザのテスト]を実行するとエラーが表示されます。749000

- ❑ 「ホーム」タブのウインドウ切り替えメニューがなくなっています。748402
- ❑ App Studioにて、グラフキャンバスの条件付きスタイルの定数入力時に日本語で数字入力できません。747800
- ❑ App Studioの環境ツリーの「プロジェクト」エリアは廃止されました。744034

BI Portal

BI Portalの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ BI Portalのアラートアシストとレポートオブジェクトでは、「名前をつけて保存」を選択後、既に存在するファイル名で保存しようとした場合、内容は更新されません。504417
- ❑ BI Portalユーザのパスワード有効期限を設定すると、インストール時に作成されているユーザ(admin, wfdesktop, public)のステータスが「MUSTCHANGE」に変更され、BI Portalに初回ログイン時にパスワード変更が必要になります。505033
- ❑ LinuxのShift-JIS構成でWebFOCUSを使用する場合、①②などの機種依存文字が含まれたファイルやフォルダをエクスポートすると文字化けが発生します。(UTF-8構成では発生しません) 645717
これは、Linuxの文字コードに依存するものです。
- ❑ ポータルのリソースツリーのフィルタにて以下の文字を含む検索を行った場合、検索条件が抽出できません。またフィルタの解除を行ってもフィルタの解除ができません。588812
 - ❑)
 - ❑ (
 - ❑ +
 - ❑ ￥
 - ❑ 」
 - ❑ 「
- ❑ BI Portalのリソースツリーのフィルタで以下のタイプは正常に動作しません。589076
 - ❑ マスターファイル
 - ❑ イメージ
 - ❑ PDFドキュメント
 - ❑ Wordドキュメント
 - ❑ Excelドキュメント
 - ❑ PowerPointドキュメント
 - ❑ スケジュール
 - ❑ 配信リスト
 - ❑ アクセスリスト
- ❑ BI Portalにてコンテンツを検索する際、Reporting Serverを指定した上で検索を行うとエラーが発生します。WF8105-110

- ❑ アカウントポリシー設定の「IBI_Password_Expire_Action」を「EXPIRE」に変更してもパスワード変更画面が表示されません。WF8105-121
- ❑ 条件保存でファイルを上書き保存する際、警告メッセージの一部に文字化けがあります。WF8201-10
- ❑ 条件保存のダイアログでファイル名を指定する際、以下の文字は使用できません。628601

:	"	(	)	
?	,	/	;	*

- ❑ 変更管理のフィルタ機能は廃止されました。670225
- ❑ セッションタイムアウトの制御パラメータが、管理コンソールの「セッションタイムアウト」に変更されました。647631
- ❑ ポータルを作成し、リソースツリーのhtmlファイル等をパネルの新規タブとして出力するように設定されている場合、[値の保存]を行ったhtmlファイルをリソースツリー上からダブルクリックを行い、次々と新規タブに表示/出力すると、タイミングによって、選択保存した値が展開されずにhtmlファイルが表示されることがあります。631257
- ❑ マスターファイルにremarksが設定されている場合、ツリーパネルの Reporting Serverエリアにマスターファイル名が表示されず、REMARKSのコメントが表示されます。639833
- ❑ 検索ダイアログの幅を縮めると、[削除]ボタンのみが隠れます。603145
- ❑ BI PortalからReporting Serverコンソールを起動し、別ユーザでログインする際、IDのみ指定した場合、認証情報の妥当性に関わらずエラーメッセージが表示されることなく起動ユーザでリロードされます。606299
- ❑ BI PortalからReporting Serverコンソールを起動した際、ログアウト後のログイン画面で、IDとパスワードを入力することなくサインインできます。606301
- ❑ WebFOCUS 8.1.05の管理コンソールで設定可能であった「IBI_GZIP.enabled」の設定は、WebFOCUS 8.2.01M以降廃止されました。常にGZIP圧縮される動作となります。674477
- ❑ ユーザIDの先頭に「0」が使用されている場合、ユーザIDを編集しようとすると、セキュリティセンターのユーザ編集画面に0が表示されません。684134
- ❑ コラボレーションポータルの「コメントの追加」クリック後に素早く画面をクリックすると[コメントの追加]ダイアログと[保存]ダイアログが同時に表示されます。749552
- ❑ BIPボタンメニューから、「名前をつけて保存」が消えています。748055
- ❑ サンプルコンテンツにて作成されたレポートを開くと、eventログにエラーメッセージが表示されません。747518
- ❑ 管理コンソールにて、セキュリティタブ>セキュリティゾーン>デフォルト>セッション管理をダブルクリックしても画面遷移しません。748460

- ポータル上でF9キーをクリックするとアクセシビリティのON・OFFが切り替えられてしまいます。
751455

ポータルデザイン

ポータルデザインの注意点と既知の問題は次のとおりです。

- リソースツリーから、表示するウィンドウ名を指定してレポートを実行するように設定されていても、ポータルを実行した際に、指定されたウィンドウ名が表示されません。669802
- ポータルデザイン画面に表示される「プロパティ」ボタンがブラウザによって異なります。648248

IE	正常に表示されます
Firefox	[プロパティ]ボタンが半分だけ表示されます
Chrome	[プロパティ]ボタンが表示されません

- ポータルデザインで、ページレイアウトに「可変キャンバス」を使用すると、ポータルの保存ができなくなることがあります。664935
- 8.2からBI Portalでページアイコンを指定する際、画像サイズを指定できるようになりました。(以前のバージョンでは自動でリサイズされていました)
ページアイコンのサイズを指定しない場合、オリジナルサイズで表示されるようになっています。そのため、旧バージョンから資産を移行した場合、画像が大きく表示されるようになり、ポータルのレイアウトが崩れる場合があります。675152
- IE11からブログのコメントの太字設定が有効になりません。748687
- IE11でコラボレーションポータルを作成時、OSのディスプレイやブラウザの拡大縮小の設定が100%以上だと、階層リンクバーが表示されない場合があります。744248

モバイル

モバイルの注意点と既知の問題は次のとおりです。

- UTF-8環境にMobile Favesから接続しPDFで出力しても、日本語文字が含まれる場合、何も表示されません。UTF-8環境で日本語文字が含まれるデータをPDFで表示したい場合は、Mobile Favoritesをご使用ください。534941
- Mobile FavoritesとMobile Favesでは、目次機能が動作しません。535022
- ARGGRAPHENGINEに「JSFUSION」を指定している場合、Mobile Favesにてグラフをフルスクリーンモードで開くと凡例が切れて表示されます。588707
- Android端末のMobile Favesを使用して、Windows認証を行っているサーバへの接続はできません。588709
- Mobile Favesでレポート表示した際にメニューから「キャプチャ」「スクリーンショット」を選択してもカメラアプリに連動せず画面キャプチャが取得できません。670542
- モバイルビューアのリフレッシュ機能は動作しません。671270

- ❑ MobileFavesに使用するコンテンツをお気に入りへ追加する前に、コンテンツのプロパティにあるタグに「FAVES」というキーワードを登録してもMobileFavesで有効なコンテンツとなりません。
747816
- ❑ MobileFavoriteでログイン画面が変更されました。747929

HTML5 グラフ

HTML5 グラフ出力を使用する際の既知の問題および機能上の考慮点は次のとおりです。

- ❑ 参照線のテキストの表示位置設定は有効になりません。504666
- ❑ HTML5、Analytic Document、Analytic PDFグラフ出力では、注釈の設定は有効になりません。
504702
- ❑ 縦軸ラベルの値を手動設定にした場合（デフォルトは自動設定）、縦軸のグラフ目盛りに 0 を表示する設定は有効になりません。589861
- ❑ HTML5、Analytic Document、Analytic PDFグラフ出力では、縦軸タイトルを中央揃えから右揃えまたは左揃えに変更すると、タイトルの表示位置が正しい位置に表示されなくなります。590425
- ❑ HTML5 グラフでは以下の機能が未サポートです。
 - ❑ 円グラフでの自動配置 (setPieFeelerTextDisplay(4);)
 - ❑ 下線の設定
 - ❑ 縦罫線の補助罫線 589841
 - ❑ グラフのフレームの奥行き 589850
 - ❑ 対数目盛り 589864
 - ❑ 凡例開始位置 589870
 - ❑ 凡例マーカーの変更 589873
 - ❑ 凡例マーカーの形状使用の無効 589874
- ❑ マップグラフでDeLormeベースマップを指定して実行し、地図を表示してからしばらくすると、「マップサービスに必要な双方向の接続を確認してください。また、サービス拡張へのパスが有効ではない可能性があるため、このパスも確認してください。」というメッセージが表示されます。748003
- ❑ HTML5グラフではミッシング値がグラフに表示されません。747525
- ❑ メータグラフを使用する場合、スタイルシートにWarm.styを利用しているとグラフラベルの一部がつぶれて表示されます。746945
- ❑ WebFOCUSのサンプルデータ(WF_RETAIL_LITE)を使用して、コロナプレスマップは出力できません。745996
- ❑ グラフにスライダーコントロールを指定し、アニメーションを実行するとグラフのY軸の上端の値も同時にアニメーションします。737813
- ❑ HTML5形式のグラフにて、グラフタイプに散布図を選択している場合、8.2以降では、散布図のディテールバケットの導入により、デフォルトの動作は合計で集計されるように変更されました。「詳細」バケットにBYに指定したい項目を追加してください。670630

- ❑ マップグラフでプロポーショナルシンボル使用時に表示件数が1件の場合、ズームレベルが上がりにすぎて“Map data not yet available”が画面上に表示されます。(世界地図利用時、Leaflet使用時) 611518

InfoAssist

InfoAssistの注意点と既知の問題は次のとおりです。

- ❑ アラートアシストおよびレポートオブジェクトで「名前をつけて保存」する際に、既に存在するファイル名で保存しようとするすると保存できません。(上書き保存ができません) 504417
- ❑ 文字列「JOIN」の前に文字列「END」が指定されたレポートオブジェクトを作成し、そのレポートオブジェクトを元にして新規にレポート作成しようとした場合、エラーが発生します。664655

InfoAssistでデータとマスターファイルを使用する際の既知の問題は次のとおりです。

- ❑ マスターファイルが階層構造の場合、InfoAssistのレポートで、プレビュー上の操作で項目のフィルタが設定できるメニューが表示されます。676001

ビジュアライゼーション

InfoAssistのビジュアライゼーションに関する注意点と既知の問題は次のとおりです。

- ❑ グラフのタイトルフォントを「メイリオ」に設定すると最小値のまま変更できません。670359
- ❑ フォーマットタブの「罫線」から内向きの目盛り、フレーム領域、領域の境界線、領域内のテキストを設定しても有効になりません。670533
- ❑ 凡例詳細オプションで凡例の表示状態を1度変更後、さらに変更した場合、設定が切り替わりません。670728
- ❑ フォーマットタブの「インタラクティブオプション」から「アニメーションを1回実行」にチェックを入れ、実行画面のウィンドウサイズを変更すると、アニメーション表示が2回以上されます。670812
- ❑ 凡例詳細オプションで、「スクロール有効」に設定しても設定が有効になりません。グラフでも同様の事象が発生します。670979
- ❑ 「カスタムベースライン」に値を設定しても反映されません。689893
- ❑ 縦軸のグラフ目盛りを対数目盛りに設定することはできません。689889
- ❑ ビジュアライゼーションを使用した資産を、文字コードの異なる環境へ移行後に編集しようとする「InfoAssist以外で変更されています」のアラートが表示されます。ファイルのインポートは文字コードが同じ環境間でのみサポートされます。691174
- ❑ ビジュアライゼーションで作成したコンテンツをモバイルビューアで開こうとするとフレームしか表示されません。690711
- ❑ ビジュアライゼーションの横軸線を非表示にできません。749562
- ❑ ビジュアライゼーションにて、ラベルフォーマットの設定から[パーセント(小数点以下0桁)/100]のみ3桁区切りで表示されます。748593

- ❑ ビジュアライゼーションにて、レガシーテンプレートの一部テンプレートを使用してグラフを表示すると倍率が非常に小さく画面が潰れたようなグラフで表示されてしまいます。748570
- ❑ ビジュアライゼーションのデータラベルの右寄せ、左寄せが削除されました。748186
- ❑ ビジュアライゼーションのソートの制限(BY LOWEST/HIGHEST n)が動作しません。748174
- ❑ ビジュアライゼーションにて、一時項目(COMPUTE)を作成し、[縦軸]から[横軸]へドラッグ&ドロップをするとエラーが発生します。748148
- ❑ ビジュアライゼーションでInfographic.styのスタイルシートを使用して、レポート表示にすると項目名が見ずらいフォント色に変わってしまいます。748089
- ❑ IE11でビジュアライゼーションのストーリーボードを表示すると、下枠線と右枠線が消えます。748084
- ❑ ビジュアライゼーションにて、実行されたグラフの凡例を非表示にし、画面右下にある「元に戻す」ボタンを押下すると凡例が画面右下から左上に移動して消えます。747936
- ❑ ビジュアライゼーションにて、罫線の設定から罫線のフォーマットの設定より、[フレーム]のテキストスタイルから「テキストの表示位置の設定」項目が無くなりました。747935
- ❑ ビジュアライゼーションにて、「ページ見出し」と「ページ脚注」のフォントの設定より、斜体(イタリック)が適用されません。747809
- ❑ ビジュアライゼーションにて、[フレームと背景] - [背景]の設定から[方向]の設定より[放射状円(反転)]の設定が反映されません。747806
- ❑ ビジュアライゼーションにて、軸ラベルの設定より[縦軸のフォーマット] - [タイトル]の設定から[フォントスタイル]の設定でフォント種類、フォントサイズの設定が反映されません。747803
- ❑ ビジュアライゼーションにて、スタイルシートに特定のスタイルシートを指定してグリッド表示にした場合、明細部分が背景色と同化して値の確認ができません。747796
- ❑ ビジュアライゼーションにて、絶対値縦折れ線を使用時、接続線の設定を一度解除した後、再度有効にすると、プレビュー画面で接続線が表示されなくなります。747547
- ❑ ビジュアライゼーションにて、[プロンプトの非表示]を選択しているにも関わらず、フィルタが有効となります。745934
- ❑ edasprof.prflに「SET ARVERSION=2」の指定があるとビジュアライゼーション起動時に修復できないエラーが発生しビジュアライゼーションが起動できません。751873

グラフ

InfoAssistのグラフに関する注意点と既知の問題は次のとおりです。

- ❑ グラフ作成時にインタラクティブデザインビューでサンプルデータを表示に指定している場合、シリーズタブでシリーズを選択する際に全てのシリーズが表示されません。395735
- ❑ グラフのページ見出しまたは、ページ脚注にフォーマット「ページX/Y」を設定して実行するとページ番号は「0」で表示されます。362691
- ❑ グラフ表示時のウィンドウのバーを右クリックして選択できる、「グラフの自動サイズ変更」は有効になりません。504386

- ❑ HTML5 フォーマットを選択して折れ線グラフを作成する際、各シリーズのマーカーメニューの設定値と実際のグラフのマーカーとが一致しません。504674
- ❑ HTML5 フォーマットを選択している場合、グラフのフレームの色でグラデーションスタイルの色パターンの設定を一旦変更すると元に戻せません。589856
- ❑ フレーム領域の位置を、前の領域より大きい値を入力すると内部サーバエラーになります。590062
- ❑ 「シリーズ」タブからグラフの種類を変更後、「なし」に戻すと表示されるグラフとフォーマットタブで選択されているグラフが異なります。590222
- ❑ バージョン8.2以降ではグラフツールで「HTML5」形式を選択した場合、「ファイル」メニューは使用不可になりました。8.1.05までは、「HTML5」形式を選択した場合でも「ファイル」が選択できました。669797
- ❑ グラフ作成時に、カスタムフォーマットに「###,###」を指定すると「修復できないエラー」が発生しリクエストの作成を続行できません。670512
- ❑ グラフ作成時に、縦軸の詳細設定オプションで、「カスタムベースライン」の値を空白にして「OK」ボタンをクリックすると修復できないエラーが表示されるため、値を変更する場合は、必ずblankではなく数値を入力してください。670513
- ❑ Shift-JIS環境でグラフをPNG形式で作成する際に、見出し脚注に日本語文字を指定する場合は日本語フォントを指定してください。670534
- ❑ グラフ作成時にミッシングデータの「補間線」を設定すると、出力フォーマット(PNGやGIF)によって異なるエラーが表示されます。671021
- ❑ グラフを表示する際に、フォーマットを「PDF」、凡例フォーマットから「凡例の塗りつぶし」で「塗りつぶし」、「境界スタイル」から「境界の表示」を設定すると凡例領域から一部文字列がはみ出して表示されます。この事象はWindowsのUTF-8環境のみで発生します。671273
- ❑ 特定のテーマ(Warm、JAWarmなど)を使用し、フォーマットにHTML5、Analytic Document を指定している場合、NULL値はグラフに表示されません。690044
- ❑ フォーマットにHTML5、Analytic Document を指定している場合、積み上げ棒グラフ作成時に「累計の表示」初期設定が有効になっているが動作しません。688462
- ❑ グラフツールで縦軸や横軸にパラメータを設定し、実行時に軸に表示する項目を選択するには、管理コンソールの「パラメータのプロンプト」-「Managed Reporting」の設定を「常にプロンプトを表示」に設定する必要があります。671004
- ❑ グラフツールでHTML5フォーマットを選択している場合、グラフのフレームと背景のプロパティ画面で塗りつぶしタイプからグラデーション、方向から放射状円(放射状円(反転))を選択すると、デフォルトで白色が選択されているため、色の凡例が非表示の状態になります。589854
- ❑ グラフツールで、HTML5フォーマットを選択している場合、グラフのサイドフレームにデフォルトで影を表示する設定になっていますが影は表示されません。589859
- ❑ グラフツールで出力フォーマットに[HTML5]を選択している場合、3D表示の使用は未サポートです。610403

- ❑ InfoAssistで一部のフォーマットのグラフの縦軸ラベルのカスタムフォーマットで小数点以下が反映されません。(HTML、PDF、XLSXで発生。HTML5、Analytic Documentは問題なし) 657938
- ❑ バブルグラフでは、ハイパーリンクの代替コメントを設定しても通常のツールチップが表示されません。367430
- ❑ インタラクティブデザインビューでサンプルデータ表示に指定している場合、シリーズタブでシリーズを選択する際に全てのシリーズが表示されません。395735
- ❑ グラフ作成時にグループを作成すると、グループ解除後も、グループを設定したフィールドのタイトルとアイコンがグループのまま残ります。675102
- ❑ グラフツールでファイル保存時に、同名のファイル名が保存先に存在しても、注意メッセージが表示されません。685131
- ❑ グラフツールで、HTML5やAnalytic Document形式を選択している場合、クエリの表示形式を変更できません。690839
- ❑ グラフツールにおいて、3Dチャートの場合、データラベル詳細オプションが正しく表示されません。748851
- ❑ グラフツールで、縦軸・横軸のタイトルのスタイルの設定が反映されません。また、8.2.01から「下線」、「文字揃え」の機能が減っています。748669
- ❑ グラフツールのフォーマットタブから、[インタラクティブオプション]が削除されました。748363
- ❑ グラフツールにてHTML5で見出しに設定したテキスト色がEXCEL変更して出力すると反映されません。748160
- ❑ グラフツールで、特定のフォーマットで出力指定時に傾向線の設定が有効になりません。748053
- ❑ グラフツールで二軸集合縦棒選択時にライブプレビューで表示されている棒グラフと選択したグラフの項目が逆になります。747962
- ❑ グラフツールを作成する場合、[フォーマット]ー[ラベル]ー[軸]ー[縦軸]ー[縦軸詳細オプション]を選択し、[タイトル]タブの[テキストスタイル]で、[左揃え]、[中央揃え]、[右揃え]、のアイコンが見つかりません。747753
- ❑ メータグラフで、主目盛りの色を設定した後に目盛りの長さを変更すると、色が設定前の状態に戻ります。747358
- ❑ 一部形式のグラフで基軸のタイトルの文字の向きが縦書き(逆さ)に表示されます。747153
- ❑ フォーマットにHTML5を指定し、凡例領域の枠線を特定のスタイルシート(Warm.sty)を使用すると凡例の罫線の一部が表示されません。735079

レポート

InfoAssistレポートでの注意点と既知の問題は次のとおりです。

- ❑ ピアグラフを設定した項目を非表示にし、実行すると、ピアグラフを設定していない項目に対してピアグラフが表示されます。395725

- ❑ レポート作成時に、ピアグラフが設定されているフィールドに対して通貨記号（固定）を設定するとプレビューのレポート表示が崩れます。504366
- ❑ レポート・グラフ作成時に、マスターファイルにACCEPT属性が設定されているフィールドをフィルタに指定した場合、データソースから値を収集することができずエラーが表示される。538780
- ❑ ドリルダウンレポートをOLAP機能でソートすると、ドリルダウンに不正なパラメータが渡され、構文エラーになります。469369
- ❑ 一時項目作成時にEDIT関数の第2引数に「」（単一引用符を続けて指定）と指定している場合、InfoAssist でリクエスト再編集しようとすると、エラーが表示され、開くことができません。EDIT 関数の第 2 引数には、1 バイト以上の値もしくはマスク文字を指定する必要があります。589750
- ❑ フィルタ設定画面の「オプション」機能は、8.2以降チェックボックスに変更されています。669793
- ❑ BY項目に対して「グループの作成」でグループを作成後、「すべてグループ解除」を実行すると、「操作に失敗しました」とエラーが表示されます。WF8201-14
- ❑ オプションダイアログで、レポート出力タイプを「Excel Formula(EXL2K FORMULA)」に設定後、新規レポート作成時にレポート出力タイプはHTMLになります。670567
- ❑ 出力形式をPDFに設定し、テーマをJADark.sty、JAID_Dark.styに指定するとレポートが表示されません。671016
- ❑ Analytic Document形式選択時の「グラフエンジン選択メニュー」はWebFOCUS 8.2で廃止されました。675098
- ❑ InfoAssistでホームタブのフォーマットに「ユーザ」を選択した場合、フォーマットのアイコンに「ユーザ」が指定されません。「ユーザ」選択前に表示されていたアイコンの表示のままとなります。675261
- ❑ WebFOCUS 8.2.01Mから日付のフィルタ条件の設定で定数の場合、値から「今日」「月の開始」など選択できるようになりましたが、これらの項目と「カスタム日付」やDBから取得した値を1つの条件式に設定した場合、エラーが発生します。
この場合、条件式は分け、OR条件で設定してください。675250
- ❑ レガシーテンプレートを使用している場合に、複数ACROSS項目を指定後、ライブデータ上で任意のACROSS項目を右クリックしてタイトル変更しようとするとエラーが表示されて、作成続行不可能となります。678466
- ❑ InfoAssistで、サンプルデータでHOLDファイルを作成すると、選択条件値にサンプルデータ (EX:Axxxxxxx)が入ります。680221
ライブデータに変更してHOLDするか、サンプルデータでHOLDした際には条件値を定数で指定してください。この動作は仕様となります。
- ❑ PDF出力かつ特定のテーマにすると、ラベルの下線表示が2行に渡って表示されます。747930
- ❑ ドリルダウンレポートの[ドリルダウン]ウィンドウの[説明]で入力した文字は、ChromeとFirefoxで表示するとマウスカーソルの下に表示されますが、EdgeまたはIEで表示するとマウスカーソルの上に表示されます。747113
- ❑ 目次とアコーディオンを同時に選択した状態でレポートを実行することはできません。746356
- ❑ フィールドタイプが文字列の項目をパラメータに設定したレポートで、プロンプト画面の「フィルタ値のリセット」を押下しなければフィルタの入力値がクリアされません。746297

ドキュメント

InfoAssistドキュメントでの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Analytic Dashboardのプロパティで表示されるメッセージが初回表示時のみ文字切れします。
451133
- ❑ グラフの見出し設定画面のデフォルトフォントが「Arial」で表示され、文字揃えの設定が画面表示上と実際の実行時の位置が異なります。439496
- ❑ レポート作成時に、2つのオブジェクト間を相対配置に設定すると、実行時に2つのオブジェクトが重なって表示されます。504382
- ❑ テキストを挿入し、下線を設定し、フォントの色を変更してもHTML 形式で実行した場合、下線の色は変更できません。589764
- ❑ リストボックスの外枠の罫線について、8.2.01M以降では罫線が非表示になっています。670345
- ❑ グリッド表示を有効にした状態で新規作成すると、リボンの「グリッド」は選択状態にも関わらず、グリッドが表示されません。670713
- ❑ レイアウトモードでレポートを取り込む際、レポート領域が不自然に拡大し、レポートのプレビューが表示されないことがあります。663165
- ❑ レイアウトに挿入したテキストオブジェクトを右クリックし、[切り取り]を選ぶと「component not found in pageLayout」のメッセージが表示されます。748110
- ❑ レイアウトに挿入したテキストオブジェクト内で、文字列を選択状態にし、右クリックしても[コピー]等の項目が選べません。748109
- ❑ フォーマットAnalytic Document利用時に、複数のコンテンツの幅がプレビュー通りに表示されずに重なって表示される場合があります。747701

InfoAssistのプロパティ

InfoAssistのプロパティの注意点と既知の問題は次のとおりです。

- ❑ WebFOCUS 管理コンソールの InfoAssistのプロパティで、グラフ出力フォーマットとレイアウト出力フォーマットに XLSX フォーマットを設定できません。589366
- ❑ 管理コンソールの設定にて、[Visualizationのスタイルシート]の設定がInfoAssistのオプション画面の設定に反映されません。737934

InfoMini

- ❑ 管理コンソールから利用不可にしたInfoAssistの出力フォーマット設定はInfoMiniでは有効になりません。504712
- ❑ InfoAssistのプロパティでInfoMiniの即時実行を無効に設定しても有効になりません。589104
- ❑ 「シリーズ」タブにある「グラフ」の各設定を変更しても選択済みの状態になりません。669807

- ❑ InfoMiniの設定ですべてのタブを未設定にしている、即時実行の設定を「オフ」から「オン」に切り替えると、InfoMiniが設定されます。670834
- ❑ 「デフォード実行」を有効にして実行後、デフォードレポートの名称入力画面にて「キャンセル」をクリックしても、動作しません。671276
- ❑ Analyticフォーマット(Analytic Document、Analytic PDF)を選択した場合、相対配置が有効になりません。602651
- ❑ InfoMiniで、項目の [データ+タイトル] からスタイル同時設定をした後デフォルトに戻すと、タイトルが正常に戻りません。690033

インストールおよび構成

WebFOCUS のインストールおよび構成の既知の問題は次のとおりです。

- ❑ コマンドラインまたはUNIXシェルから構成マイグレートを実行すると、ログファイルにエラーメッセージが表示されます。このエラーが、構成ファイルのマイグレートに影響を与えることはありません。
- ❑ WFRPosUtilCMDLine.batまたは、WFRPosUtilCMDLine.shを実行しても、RPT_DATA、RPT_METADATA、およびRPT_USAGEのテーブルが削除されず、リポジトリにそのまま残ります。
- ❑ WebFOCUSのインストールでReportCasterをインストールしていないにも関わらずメールサーバホスト名の入力が必要とされます。468041
- ❑ WebFOCUSのリポジトリDBとしてMS SQL Serverを利用する場合、バージョン8.2.06以降では、データベースの照合順序を Japanese_CS_AS_KS_WS に設定する必要があります。(8.2.01までは Japanese_CS_AS が利用できました。)749570
- ❑ WebFOCUS Client の更新インストールに失敗する場合があります。更新インストールの際は必ずWebFOCUS関連サービス、プロセスをすべて停止して実施ください。746001

ReportCaster

ReportCaster の注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ ReportCasterのプリンタ配信とPSフォーマットでの配信は日本語環境では未サポートです。533346
- ❑ UTF-8 環境で、FTP 配信するファイル名に日本語を使用することはできません。SFTP 配信でも同様です。452802
- ❑ ReportCasterでURL配信をする際にパラメータ名に日本語が指定されているとパラメータが正常に渡りません。504452
- ❑ ReportCasterのスケジュールログにResource Analyzerの指標情報が表示されません。589748
- ❑ ReportCasterエクスプローラの検索機能は動作しません。589819
- ❑ FTPの配信リストで、バースト値の「ワイルドカード」は有効になりません。589831

- ❑ アラートツールで既存レポートの編集はできません。これは制限事項です。
602458
- ❑ Reporting ServerをセキュリティCUSTOM認証で構成している場合、ReportCasterのスケジュール実行時にデータベース上のグループ情報が正常に受け渡せない場合があります。616435
- ❑ Reporting ServerをセキュリティCUSTOM認証で構成している場合、ポータルからReportCasterのスケジュールを実行する際にReporting Serverに渡されるグループ情報がバージョン8.1以降異なります。616957
- ❑ [ON 項目名 PAGE-BREAK REPAGE]を指定してBY項目毎に改ページをし、ページ番号を振り直し、脚注には“<TABPAGENO / <BYLASTPAGE”でページ数を表示するプロシジャをReportCasterのバースト機能を使用してレポートを配信すると、<BYLASTPAGE に誤ったページ数が表示されます。685133
- ❑ WebFOCUSのConfigフォルダに「dserver～.xml」が出力されます。748435
- ❑ ReportCasterステータスの構成タブで保存ボタンを押してからキャンセルしても保存されます。
748154
- ❑ ReportCasterで配信リストにインポートすると、パターンが全て「テキスト」になってしまいます。
748118
- ❑ ReportCasterのスケジュール禁止期間の登録で、登録日の「月」が表示されません。747926
- ❑ ReportCasterで、グラフをGIFなどのフォーマットで実行するとエラーが表示されます。747850
- ❑ ReportCasterにて、スケジュールの[タスクタイプ]を[URL]、[配信タイプ]を[ReportLibrary]に設定時、作成されたReportLibraryを参照するとホームページへのログイン画面が表示されることがあります。747834
- ❑ ReportCasterエクスプローラでマイコンテンツフォルダにあるアクセスリストと配信リストを右クリックメニューから共有後、「共有しない」メニューが表示されません。747759
- ❑ スケジュールで実行前プロシジャを[WebFOCUSリポジトリ]から選ぶとエラーになります。745958

WebFOCUS言語

WebFOCUS言語の非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

PCHOLD ASファイル名について

- ❑ 「PCHOLD AS ファイル名」のファイル名に半角アルファベットが含まれる場合、出力形式やファイル名に指定するバイト数によっては、大文字が小文字に、小文字が大文字に変換される場合があります。461453
 - ❑ EXCEL出力(FORMAT EXCEL)の場合：
 - ファイル名が9バイト以上 ⇒ @で始まるランダムなファイル名に変換
 - ファイル名が8バイト以下 ⇒ 全ての小文字が大文字に変換
 - ❑ EXCEL出力(FORMAT EXL2K、XLSX)、PDF出力(FORMAT PDF)の場合：
 - ファイル名に小文字が含まれる場合、全て大文字に変換

- CSV出力(FORMAT COM、COMT、COMMA)の場合:

ファイル名に小文字が含まれる場合、全て大文字に変換

上記以外の出力形式についても、同じく変換される場合があります。

また、UTF-8環境の場合、半角アルファベットに加えて全角アルファベットも変換対象となります。全角英大文字が全角英小文字に、全角英小文字が全角英大文字に変換される場合があります。671571

XLSX

FORMAT XLSXの注意点と既知の問題と非互換は次のとおりです。

- XLSXフォーマットで、セルの値とEXCELの数式バーに表示される値が異なります。488954
- XLSX出力で有効桁数15桁までExcelの数値バーに表示できるようになり、小数点以下の演算の精度が向上しました。また、編集記号「%」が付いても同様の動作をするようになりました。671502
- SET SUBTOTALS = ABOVEをXLSX FORMULAとともに使用すると、誤った数式が生成される場合があります。435139
- XLSX FORMULAを使用して中間合計(SUBTOTAL)などを指定しても、フォーマットに「%」を使用している場合、計算式が表示されないように仕様が変更しました。671942
- 検索対象がNULLで、シノニムにMISSING ON属性が付加されている項目をXLSX出力する場合、セルを選択した際に数式バーに表示される値が、8.1.05以降「NULL」になりました。SET NODATAで表示上の値は制御可能です。616830
- 編集オプション(%)を付与し、XLSX FORMULA形式で出力する場合、Excelの数式バーに「/ 100」のように100が除算され、その項目を使用して演算した場合にHTML等、他の出力と結果が異なります。635728
- XLSXフォーマットで、FOCEXEC=NONEを指定するとフォントの色が青色になります。508836
- XLSXフォーマットで、SUM項目のタイトルにドリルダウンリンクを設定した場合、設定したリンクから正常にドリルダウン処理が行えません。557507
- XLSXフォーマットでスタイルが以下の様に設定されている場合、SQUEEZEの設定が有効になりません。577418
- XLSXフォーマットで、フォーマットがDタイプもしくはFタイプの項目を表示した際に、有効桁数以下の数値は切り捨てされて表示されます。他のフォーマット(例:HTML)では四捨五入されます。すべての出力フォーマットで同様にするためには、Pタイプのフォーマットを使用してください。589912
- XLSXフォーマットでは現在、以下の機能は使用できません。435139
 - セルの編集不可属性
 - PIVOT
 - FORMULAでのSUBTOTAL ABOVE
 - ドリルダウンハイパーリンクのテキスト

- ❑ 出力先を複数のシートに設定したEXL2K TEMPLATEからXLSX TEMPLATEへ切り替えた場合、レスポンスが顕著に悪化する場合があります。⁵⁴⁰⁷⁴⁷
シート数を減らすか、シートの最後に大きいデータの結果がくるように変更してください。
- ❑ PDF、XLSX出力し、印刷する際に横向きに設定するにはプロシ ज्याに XLSXPAGESETS=ONを設定する必要があります。⁵⁰⁶²⁴⁵
- ❑ XLSX TEMPLATE出力で使用するテンプレートファイルにグラフシートを使用した場合、グラフシートの内容が削除されます。(EXL2K TEMPLATE 出力では問題ありません) ⁵⁶⁴⁶¹⁸
- ❑ XLSXフォーマットでHOLD出力し、HTML形式でPCHOLD(HOLD)処理を行った場合、出力されたレポートの横幅が広くなり、データの1レコード目に空白が挿入されます。⁵⁶⁴⁶⁸⁰
- ❑ XLSXフォーマットでは、日付項目であるACROSS項目の見出しが数値になり、日付形式で表示されません。⁷⁴⁷⁴¹³
この事象を回避するには、SET DATE_ORDER=DEFAULTを指定してください

Excel、PDF、HTMLフォーマット

EXCEL、EXL2K、PDF、HTML フォーマットを使用する際、以下の注意点と問題点があります。

- ❑ EXL2KフォーマットをExcel 2007以降開く際に警告メッセージが表示されます。³¹²²⁸⁴
以下のいずれかの方法で警告メッセージを非表示にできます。
 - ❑ グループポリシーの編集
 - ❑ レジストリエディタを使用してのレジストリ編集
 詳細は、マイクロソフトサポートオンラインを参照してください。
<http://support.microsoft.com/kb/948615>
- ❑ EXL2K FORMULAでは、SUMに実際の項目を指定せずにCOMPUTE項目のみを指定し、ROW-TOTALを指定するとROW-TOTALの列が0で表示されます。この場合、SUM項目に実フィールドを指定する必要があります。³⁶²⁸³¹
- ❑ 境界線を指定し、EXL2K フォーマットでCSV形式にて保存すると、テキストの最終行に「,」が付加されます。³⁹⁹⁹⁸²
- ❑ EXCELやEXL2Kフォーマットでマルチドリルダウン機能を使用することはできません。²⁸⁷⁸³⁷
- ❑ Linux環境では、EXL2K TEMPLATEフォーマットで指定するテンプレートファイル名は小文字で作成してください。⁴⁶³³¹²
- ❑ プロシ ज्याにWRAPの指定がある場合に、PIVOTフォーマットで出力すると以下のエラーが表示されますが、「OK」をクリックすることでPIVOTは正常に表示されます。³⁷⁴⁷⁹⁸
[読み込み中のエラー](#)
[ピボットテーブル](#)
- ❑ EXL2Kフォーマットで、ダイアログマネージャから改行コードを指定し、見出し等に指定した場合、改行が有効になりません。⁵⁵²⁷⁰⁵

- ❑ FORMAT EXCEL、EXL2Kでは、NULL値は「」(値なし)で出力されるように変更されました。以前は「.」で表示されていました。555429
- ❑ HEADINGにブランクを指定した場合、EXL2Kでは見出しには文字が入りません、XLSX の場合は半角ブランクが挿入される動きになります。560613
- ❑ 「SEQUENCE」コマンドを使用しているレポートで EXL2K 出力をした際、列合計の表示位置のみ「SEQUENCE」の指定が有効になりません。(=元々の位置に表示されます) 538589
- ❑ EXL2Kフォーマットでは、月の先頭を大文字3文字の省略形(MtYY型)で表示できません。642749
- ❑ 複合レポートをEXL2Kで出力する場合、エラーが発生します。747396
この事象を回避するには、SET DATE_ORDER=DEFAULTを指定してください。
- ❑ EXCELフォーマットをExcel 2010以降で開くことはサポートされていません。449983
- ❑ EXL2K TEMPLATE出力時に破損エラーが出る場合、Excelの保護されたビュー設定を変更する必要があります。738030
- ❑ Windows Update KB3115322 を適用した場合、ネットワーク経由で、.xlsファイル の出力結果をExcel 2010以降で開くと、空のファイルが表示されます。616676
- ❑ EXL2K PIVOTフォーマットでは、以下の制限事項があります。
 - ❑ OVER句と組み合わせることはできません。
 - ❑ 動的フォーマット変換と組み合わせることはできません。
 - ❑ 最終BYフィールドで中間合計を指定することはできません。
 - ❑ 複数動詞と組み合わせることはできません。
 - ❑ 動詞はPRINTだけが使用できます。
 - ❑ SUM以外の接頭語と組み合わせることはできません。
 - ❑ 目的語に2つ以上の同一項目を指定することはできません。
 - ❑ ページフィールド、キャッシュフィールドに目的語と同じ項目を指定することはできません。
 - ❑ ページフィールド、キャッシュフィールドに同一の項目を指定することはできません。
 - ❑ 一時項目(COMPUTE)と組み合わせることはできません。
 - ❑ SET EMPTYREPORT=ONコマンドと組み合わせることはできません。
 - ❑ コンパウンドレポートに指定することはできません。
 - ❑ SET COMPOUND=BYTOCコマンドと組み合わせることはできません。
 - ❑ COLUMN-TOTALを指定する場合はBY項目を指定する必要があります。
 - ❑ TYPE=REPORT, COLUMN=Nnを指定すると読み込みエラーが発生します。
 - ❑ EXCEL PIVOTのファイル名に日本語文字は使用できません。508513
 - ❑ 日付時間フィールドを項目へ指定することはできません。331185
 - ❑ クライアントPCにExcel 2013以降を使用する場合、EXL2K PIVOTは使用できません。331185

- ❑ EXL2K PIVOTフォーマットでは、フィールドリストのカラムに日付-時間型(HYYMDs)のフォーマットのフィールドが含まれる場合、PIVOTが正常に表示されません。
この問題を回避するためには、日付-時間型のフォーマットを日付型(YYMD)に変更してください。
- ❑ PDFフォーマットでは、複数動詞、ACROSSコマンド、OVERコマンド、境界線を同時に指定すると、境界線が正しく表示されません。322283
- ❑ PDFフォーマットでは、総合計行のカラム幅が他のカラム幅よりも大きい場合に総合行のカラム幅が正常に表示されません。287824
- ❑ PDFのコンパウンドレポートで、複数のPDFを纏めて出力しようとする、一部の結果が表示されない、また、余分な空白ページが表示される場合があります。568084
- ❑ PDFフォーマットでは、横に長いレポートで複数ページにまたがり且つ HEADALIGN=BODYが指定されている場合、以下のエラーが発生し、レポートが出力されません。444136
(FOC3218) 注意: レポートはパネルされます。合計幅:
(FOC3316) HEADALIGN=BODYの場合、複数パネルはサポートされません。
- ❑ PDFレポートにドリルダウンの指定をする場合、以下のコマンドをドリルダウン元のプロシジャの先頭に記述してください。
[SET FOCXURL=http://webserver/ibi_apps/WFServlet.ibfs](http://webserver/ibi_apps/WFServlet.ibfs)
webserver: Web サーバのホスト名、または IP アドレス
- ❑ Adobe Reader X使用時にPDFからドリルダウンを行うと、ドリルダウン先のPDFが表示されるまでの時間が長くなる場合があります。その際はAdobe Readerの設定で「起動時に保護モードを有効にする」を無効にすることで対応できます。428061
- ❑ 罫線や境界線を指定している場合、7.7 SP02以降でPDFの縦幅と横幅が異なり、PDFの1 ページに表示される列数が異なります。552226
- ❑ PDFフォーマットでは、フォントサイズを指定している場合、7.7 SP02以降でPDFレポートの列幅が異なって表示されます。555322
- ❑ PDFフォーマットでは、OVERコマンド、GRIDコマンド、RIGHTGAPコマンド、LEFTGAPコマンド、背景色、を指定していると背景色が列からずれた状態で表示されます。513644
- ❑ UTF8環境でfirefoxを利用する際にブラウザにpdfを埋め込んで出力すると文字化けが発生します。751423
- ❑ HTMLフォーマットでは、SET COMPOUND=BYTOCとPOPUPDESC=ONを指定すると、TOCパネルを移動することはできません。407124
- ❑ HFREEZEとWRAPを使用すると、HFREEZEが無効になります。564761
HFREEZEとWRAPの併用は未サポートです。HFREEZEを有効にしたい場合はWRAPの指定を無効(コメントアウト)にしてください。
- ❑ SEEQUENCEコマンドは「PDF, HTML, EXL2K」フォーマットでのみサポートされます。563721
- ❑ Excelテンプレート用のファイルにExcelの「コメント」は利用できません。750279

-HTMLFORM

- ❑ -HTMLFORMで呼び出すHTMLファイルの横幅(レコード長)の制限は32KBです。
- ❑ 「`<>`」などの特殊文字をHTMLFORMでHTMLに渡してプロシジャを実行しても、出力結果には何も表示されません。467579
- ❑ -HTMLFORMに&変数が指定されているとオートプロンプト画面が表示されます。525075
- ❑ -HTMLFORM内でHTML用のコードとして認識させたい“-” (ハイフン)で始まるコマンドが、ダイアログマネージャとして認識されます。541195

例: styleタグ内の“-webkit”やscriptタグ内のマイナスなど

ダイアログマネージャコマンド

- ❑ ラベル分岐処理を行う場合、ラベル名に変数を使用するとエラーが表示されます。ラベル名には固定値を使用してください。
- ❑ ダイアログマネージャは3バイト目以降がプログラムとして認識されません。2バイト目以内で指定を開始してください。515866
- ❑ -SETコマンドを利用時には、通常、セミコロン (;) を行末に記載する必要がありますが、-SETコマンドが1行しかない場合、エラーが発生せず実行できます。525245
- ❑ ダイアログマネージャで、変数の前に文字列が指定されている場合、変数値が展開されません。567304

-INCLUDEコマンドでの実行について

-INCLUDEで読み込むファイルをプロシジャ内で作成し、オートプロンプトの設定が有効の場合、内部で以下のエラーが発生します。291162

(FOC227) プロシジャが見つかりません

この問題を回避するためには以下のように変数に -INCLUDEを格納し、EVALで展開するか、オートプロンプトを無効に設定して下さい。

(例)

```
-SET &INC = '-INCLUDE SV01';
TABLE FILE CAR
SUM SEATS WHERE COUNTRY NE 'ENGLAND'
ON TABLE SAVE AS SV01
END
-RUN
TABLE FILE CAR
SUM SALES COMPUTE AAA/I10 =
&INC.EVAL
```

```
;
BY COUNTRY ON TABLE HOLD
END
```

EXコマンドでの実行について

変数が含まれるプロシジャをEXコマンドで実行すると以下のエラーが発生します。

必須のパラメータがありません。

この問題を回避するためにはEXコマンドではなく、-INCLUDEコマンドを使用してください。

マルチドリルダウンについて

マルチドリルダウンを使用する際に、以下の問題があります。

- ❑ TYPE=REPORTを使用し、レポートに指定した背景色は、マルチドリルダウンリンクの背景色でも有効になります。[290103](#)

ACROSSについて

- ❑ ACROSS項目値による条件付きスタイルシートを利用した場合、WHEN句に指定した項目よりも上位のACROSS項目にはスタイルが適用されません。[492464](#)

site.wfsファイル

WF_AMPERFILEをsite.wfsに指定すると、リクエストを実行しても結果が表示されません。[513826](#)

この問題を回避するためにはsite.wfsファイル内に次のコマンドを指定します。

設定コマンド: `_site_profile=-INCLUDE xxx`

xxx: 受け渡す変数が格納されているプロシジャ名を指定します。

SET CSSURLについて

カスケードスタイルシートを指定する場合、ON TABLE SET CSS urlと省略で指定すると以下のエラーが表示されます。

SETコマンドで与えた値が無効です。

この問題を回避するためには以下のいずれかのように省略せずに指定してください。

`TYPE = REPORT , CSSURL =url`

`ON TABLE SET CSSURL url`

`SET CSSURL = url`

ラベル名の重複について

1リクエスト中(-INCLUDE、EXを含む) のラベル名は重複してはいけません。

ページ見出しとページ脚注内のスポットマーカの制限

ページ見出しやページ脚注内でのスポットマーカを利用したセル分割の制限は128個です。

一時項目(COMPUTE, DEFINE)の指定について

一時項目(COMPUTE, DEFINE)の演算式の末尾にはセミコロン(;)を1つのみ指定してください。複数指定すると、エラーが発生します。444129

WHERE条件の注意点

- ❑ 抽出条件の条件値の後方にブランクが指定されている場合、データの後方にブランクを含む条件で検索されます。409891

例:

```
WHERE ENAME EQ 'SMITH '
```

変換される SQL:

```
WHERE(T1."ENAME" = 'SMITH ');
```

この事象を回避するためには、drive:\ibi\srv82\wfc\etc\edasprof.prf ファイル内に以下の設定を追加してください。

```
ENGINE sqlengine SET TRIM_LITERALS ON
```

sqlengine:接続する DB の定義名です。Oracleの場合はSQLORA

- ❑ 条件値に半角ピリオド(.)1つだけが入力されている場合、WebFOCUSはNullとして判断されてしまうため、条件をかけることができません。424607
数値項目に対する条件値にはシングルクォーテーション(')を付加しないでください。
- ❑ 比較子NEを使用して半角スペースを条件に使用した場合、条件が有効になりません。528733

WebFOCUS関数

WebFOCUS関数の非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ 演算式でINT関数にて小数部の切り捨てを行うと、意図しない数値になる場合があります。この場合はINT関数を使用せずにFORMATの桁数を変更して対応してください。424747
- ❑ JPTRANS関数を使用して、半角ピリオド「.」を全角ピリオド「。」に変換することはできません。312224

- ❑ 検索対象が SQL Server、Sybaseの場合、SUBSTR/SUBSTVを使用したリクエストがSQLに最適化されません。413044
- ❑ データソースがMS Accessの場合、DEFINEにて文字列連結を行うパイプ(\\)を使用し一時項目を作成した場合にエラーが表示されます。676614
MS AccessではTRIMを使用できないため、回避策としてSQL最適化の設定を[OFF]にすることで対応可能です。以下のコマンドを指定してください。
ENGINE SQLMAC SET FEATOPT S_CONCAT OFF
- ❑ 乗算、除算の順序により誤差が発生し、一時項目の計算結果が異なる場合があります。677104
- ❑ & 変数でHEXBYT関数を使用して改行コードを作成し、作成した変数を一時項目の演算式中に指定した場合、終点のシングルコートが改行され参照できずにエラーが表示されます。512681
- ❑ MS Accessのビューに対してシノニムを作成した場合、演算項目の桁数が1桁になります。676747
- ❑ IMOD、FMOD、PMOD関数のゼロ除算を行うと、FOC201が発生します。424406

SETコマンド

SETコマンドの非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ SET COMPOUND=BYTOCとPOPUPDESC=ONを指定するとTOCパネルの移動ができません。407124
- ❑ UTF-8環境でCSVファイル出力する際にはBOM無しのUTF-8形式で出力されます。そのため、CSVファイルをExcelで開いた際に文字化けが発生します。SETコマンドによりBOMの有無を制御できます。BOMを出力するとExcelで開いた際の文字化けを防ぐ事が可能です。SET BOM_OUTPUT = ONを指定してください。デフォルトは、OFFです。589200
- ❑ 以下の条件に合致する場合、SET SHOWBLANKS=OFFが正常に動作しません。549801
 - ❑ XLSXフォーマットを指定
EXL2K、HTML出力では正常に動作します。
 - ❑ 項目の中間にブランクを保持
項目の前後のブランクはXLSXフォーマットの場合もサプレスされます。

JOIN

- ❑ バージョン7.7以降では、「JOIN」コマンド指定時に、JOIN名の前には必ず「AS」を指定してください。指定が無い場合、エラーが表示されます。444132
- ❑ バージョン7.7以降では、クラスタJOINのシノニムで定義するKEYFLDとIXFLDでアルファベットの大文字小文字を区別するようになりました。そのためマスターファイルとアクセスファイルの項目名は完全一致させる必要があります。448923

- ❑ JOINのホストファイルにOracleのテーブルを指定し、クロスリファレンスファイルにHOLDファイルを指定したJOINを行う場合、エラーが発生します。
543351
- ❑ CSVファイルを使用して、シノニムを作成している際に数値の項目をキーとしてCSVファイル同士のJOINを行った場合、最大桁以下のデータがJOINされません。
例えば、USAGE=I5, ACTUAL=A3V,の項目の場合、3桁のデータのみJOINされ、3桁以下のデータはJOINされません。671447

Webビューア

- ❑ HTMLエスケープ文字を表示するレポートをWebビューアで表示し、Webビューアの検索機能で、任意の文字列を検索すると、カーソルが置かれる位置がエスケープ文字の上になり、かつエスケープ文字がそのまま画面に表示されます。470165
- ❑ Webビューアでは、SET LINESの設定は998までが有効になるよう仕様変更されました。※フィールド名で1行、見出しと脚注で2行カウントされます。
550854
- ❑ Webビューアでは、Windowsのブラウザショートカットキー(Backspaceキー、Alt+Rightキー、Alt+Leftキー)が有効になります。670181
- ❑ Webビューア出力し、「全てのページを表示します。」ボタンをクリック後に[Backspace]キーを押した際の動作がブラウザによって異なります。748210

-READFILE

-READFILEで使用したファイルをさらにIN FILEでも使用すると、READされた行のデータはIN FILEの指定から外れます。468734

SQLパススルー

SQLパススルー使用時の注意点は次のとおりです。

- ❑ SQLパススルーを利用してSQLを指定する場合、行の末尾に「-」が存在するとSQL実行時に「-」が自動的に削除されます。529178
- ❑ SQLパススルー指定時に、SQL~END内のSELECT直後にタブ文字がある場合、URL実行をするとHOLDファイルが作られず、エラーが発生します。549034

Pタイプ項目の演算

バージョン7.6以前とバージョン7.7以降ではPタイプ項目に対して接頭語PCTを利用している場合、演算結果が異なります。これは、バージョン7.7以降の機能拡張による影響です。533725

- ❑ バージョン7.6以前: 有効桁数以下の値を「切り捨て」
- ❑ バージョン7.7以降: 有効桁数以下の値を「四捨五入」

その他の既知の問題

WebFOCUS言語についての既知の問題は次のとおりです。

- ❑ ACROSSが指定されたレポートにAS句でカンマ(,)を指定し、スタイルシート中に「WRAP=OFF」の指定を行った場合、ACROSSで展開した1つ目の値のみ改行が有効になります。583485
- ❑ NetezzaアダプタではデータタイプNCHAR/NVARCHARはWebFOCUSのUTF-8構成でのみサポートされます。592801
- ❑ WHEN句の指定が無い[TYPE=DATA]のセクションと[TYPE=REPORT,COLUMN=Nn]の指定が存在する場合、スタイルが一部有効になりません。620675
- ❑ FORMAT DHTMLにおいて、日本語文字を含むカラムを使用すると列1と列2の値が重なって表示されます。689571
- ❑ 「予」などSJISの文字コードを16進数で表記した際「5C」で終わる検索値が含まれていた場合、ESCAPE 記号として「\」を使用した際に正しく検索できません。5Cを含む文字は以下です。
684061
一,ソ,bl,IX,噂,湮,欺,圭,構,蚕,十,申,曾,箆,貼,能,表,暴,予,禄,免,喀,孀,彌,拿,朽,歃,濬,畚,秉,綵,腎,藹,觸,鯉,鐔,饅,鸛,倭,砒,纈,狢
- ❑ アプリケーションルート(approot)に既に存在するアプリケーション名と同一のアプリケーション名をAPP MAPで指定しても、エラーメッセージが表示されません。748463
- ❑ DATE_ORDERがYMDに設定されている場合、プロシジャ中の日付設定が有効になりません。
748848
- ❑ 管理コンソールでOLAPの設定を無効にしている場合に、-OLAP ONが設定されているプロシジャを実行するとOLAPパネルは表示されますが、パネルを操作しようとすると読み込み中のままの状態になります。747928
- ❑ Linux環境で、PostgreSQLアダプタを使ってCSVファイルをバルクロードでアップロードすると構文エラーが発生します。747300
- ❑ .DSTとWITHIN句を組み合わせたリクエストを実行すると「(FOC1867) 演算子を最下位の集計として指定してください」のエラーが発生します。744520

その他の注意点、非互換

WebFOCUS言語についての注意点、非互換は次のとおりです。

- ❑ BY ROWS OVERを指定した後ろでBY項目を指定した場合、BY ROWS OVERで指定したレコードが存在しない箇所のBY項目には前の値が格納されます。
509178
- ❑ 以下の条件を全て満たす場合、SQLが最適化されません。455598
 - ❑ WHERE句のLIKEで後方一致のみを指定
 - ❑ 条件を掛ける文字型のフォーマットにVが付いていない
 マスターファイルのフィールドフォーマットをAnVに設定してください。

- ❑ -HTMLFORMでHTMLを呼び出し、HTML側に!!BI.AMP.変数名;で変数をHTMLに格納する処理を実装した際に、!!BI.AMP.変数名;を指定したにも関わらず、この変数値が渡らない場合、HTMLソースが正常に作成されません。593204
- ❑ HTML出力する1プロシジャ中に2つのリクエストを含め実行すると、2つ目プロシジャのスタイルシートが1つ目のプロシジャにも反映されます。540369
- ❑ COMPUTE項目の演算式に指定したIF THEN ELSEに文字項目を指定した場合、ACROSS RECOMPUTEで合計を求めることはできません。502735
- ❑ ソート項目のフォーマット変換を行った場合、フォーマット変換前の値で値はソートされます。507933
- ❑ FILEDEFコマンドでリポジトリのコンテンツ配下にあるプロシジャを呼び出すことはできません。594417
- ❑ PowerPoint 2010以上を使用している場合、FORMAT PPTでレポートやグラフを表示することはできません。今後はFORMAT PPTXを使用してください。684020
- ❑ バージョン8.2ではReporting Server起動時に自動でJavaの値を検索し自動的にレジストリに設定されるよう機能強化されました。この動作が警告としてログに記載されます。684822
警告を表示させたくない場合は従来通りJAVA_HOME(JDK_HOME)を設定するかedaenv.cfgにJavaのパスを設定してください。
- ❑ COUNTWIDTH=nの設定はHTMLフォーマット以外で使用してください。748103
- ❑ クロス集計表 (BY,ACORSS) 実行後、&LINES値は0件になります。283557
- ❑ LIKE演算子利用時に比較値の指定で「%」の指定がないと検索結果が0件になります。465887
- ❑ 「APP CREATE」コマンドで、フォルダのパスに\を指定すると、構文エラーが表示されます。513615
- ❑ 「-WRITE」コマンドで、変数の末尾にカンマ (,) が指定されている場合、構文エラーが表示されます。514057
- ❑ バージョン 7.7 SP02以降、SAP R/3アダプタからSAP R/3上のVIEWのシノニムを作成する際に、SAP R/3 アダプタの設定「CONNECTION_LANGUAGE」で設定した言語と同じ言語で「テーブル名称」が登録されているVIEWしか一覧に表示されません。552871
- ❑ NULL値検索時に「WHERE EQ XXX EQ 'MISSING'」とシングルクォーテーションを付加すると検索できないため、MISSINGはシングルクォーテーションで囲まないようにしてください。535678
- ❑ オートプロンプトを指定する構文でプロンプト値の後ろに「.」がない状態で実行すると構文エラーになります。そのため必ずプロンプト値の後ろには「.」を指定してください。535681
- ❑ ON TABLE SAVE FORMAT BINARYを指定している場合、ファイルがALPHA形式で作成されます。543498
- ❑ InfoAssistで作成したプロシジャにHTMLタグを用いて画像を表示させる際、HTMLタグがそのまま表示される場合があります。
原因は、HTMLENCODE ONの設定が正常に有効になっているためです。536525

- ❑ DFIXおよびALPHAフォーマット使用時に、SUM項目に動的フォーマット変換が指定されている場合、その項目が重複して出力されます。この場合、SET HOLDLIST=PRINTONLYをプロシジャに指定してください。563634
- ❑ BY HIGHEST xx コマンドは使用できません。606378
- ❑ cm_export.batをコマンドから実行する際に、引数をテキストファイルで指定した場合にエラーが発生します。引数を別ファイルで指定するのではなく、以下のように同一のバッチファイル内に引数を同時に指定してください。608619
サンプル：
`cd c:\ibi\WebFOCUS82\utilities\cm`
`cm_export USERNAME=admin PASSWORD=admin EXPORTTO=scen0516 LOGLEVEL=info`
- ❑ SAVEコマンドでファイルの追記(APPEND)を複数回行った際に、フォーマットが異なる場合データの末尾が切り捨てられる場合があります。614062
- ❑ Oracleのテーブルを使用している環境において、DEFINEで「”」を設定して、WHERE句で条件値に「”」を指定すると検索結果が0件になります。614568
- ❑ 数値項目にブランク条件が設定されている場合はエラーになります。なお、FOCUSの構文チェックは通過して誤ったSQLが生成されます。465250
- ❑ Reporting ServerのセキュリティがPTHに設定されている場合、WebFOCUSでドリルダウンを正常に動作させるためにはWebFOCUSコンソールのアクセスコントロールタブより「PTH」の「trust_ext」の設定を「Y」に設定してください。675101
- ❑ EDATEMPディレクトリを取得するには、TEMPPATH関数をご利用ください。670842
- ❑ SUBFOOTとHEADALIGN=BODYを使用し、項目のA8YYMD項目の下にSUBFOOTで日付項目を指定して表示しようとした場合、XLSX出力を行うとSUBFOOTに指定した値ではなく、SUBFOOTの上に表示される項目のA8YYMD項目の値が表示されます。

WebFOCUSグラフ

WebFOCUSグラフの非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ `setDisplay(getO1AltFmtFrame(),true);` コマンドを使用した場合、グラフの背景色が赤色に仕様変更されました。466201
- ❑ 折れ線グラフ使用時にデータラベルの位置表示「下」は有効になりません。504407
- ❑ グラフ作成時にX軸タイトルの配置が「中央揃え」以外は無効になりません。504404
- ❑ グラフのX軸ラベルの表示が指数で表示されます。675103
 - ❑ 8.2.01以降の場合：X軸がK単位で表示
 - ❑ 8.1.05の場合：X軸が実数で表示
- ❑ X軸ラベルの文字サイズの自動調整 (`setO1LabelAutofit(true);`) を行うと、同時に凡例の表示領域の自動調整がtrueになります。287812
- ❑ グラフとY軸メモリラベルの間隔は、グラフリクエストのHAXISの値に比例して広がります。398203

- ❑ 円グラフ出力時に表示される凡例に、割合の値が出力されません。479035
- ❑ 面グラフでプロットされる個所にマーカーを表示されるように設定してもマーカーが表示されません。479852
- ❑ グラフタイプ積み上げ横棒では、接続線が正しく表示されません。492640
- ❑ レーダー折れ線グラフ（円形折れ線グラフ）で Y1、O1、X1 軸ラベルのsetLabelStagger（値の交互表示）が有効になりません。332912
- ❑ 傾向線を表示し、数式を表示させると、数式がはみ出し一部表示されない場合があります。451056
- ❑ 棒グラフで桁数の多いY軸を No Decimal（全ての桁数数字を表示）で左側に表示した場合、グラフの右側に余分な空白が挿入され、グラフが縮小されて表示されます。551605
- ❑ 折れ線グラフに条件付きスタイル設定（色）をすると、プロット点だけでなく次プロットとの間の線までも色が変わります。532029
- ❑ setTextFormatPattern(getDataText(), "formatstring") ではツールチップのフォーマットを変更できません。570760
- ❑ ミッシングデータ（補間線）を設定した際に、HTML5形式以外のフォーマット（例えば、HTML）を選択し、実行すると正常にグラフが表示されません。589782
- ❑ 数値項目を基軸に指定して、横ヒストグラムグラフを実行すると、内部エラーが発生する場合があります。589911
- ❑ UTF-8環境で、グラフのX軸にA6YYMのフォーマットを持つ項目を指定した場合、グラフのX軸が正常に表示されません。511221
- ❑ 散布図のツールチップの値の表記は指数で表示されます。374794
- ❑ WebFOCUS 8.1.05以降でグラフの高さが変わったことによりX軸ラベルの文字列が長い場合見切れて表示されます。670620
- ❑ Pタイプの項目を除算した値を格納するDタイプの一時項目を作成するとTABLEリクエスト(レポート)とGRAPHリクエスト(グラフ)で出力結果が異なります。
出力フォーマットをHTML5に変更し、以下のBUCKET構文（四捨五入の精度を上げる構文）を指定することで対応可能です。677625
TYPE=DATA, COLUMN=N1, BUCKET=x-axis, \$
TYPE=DATA, COLUMN=N2, BUCKET=y-axis, \$
TYPE=DATA, COLUMN=N3, BUCKET=y-axis, \$
- ❑ 時間目盛り軸(TimeScaleAxis)を作成した際に、データが正しく出力されません。681388
- ❑ 全角半角混ざりのAnV項目をX軸に使用してグラフ出力すると、X軸のラベルの文字列の一部が崩れて表示されてしまいます。750252

データアシスト

データアシストの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ 出力ウィンドウの数値項目のカラムタイトルをクリックし、メニューから昇順または降順にソートを選択した場合、ソートが文字としてソートされます。WF8201-79
- ❑ ブラウザにIE11を使用する場合、一時項目作成画面で、変換前の日本語文字がにじんだ状態で表示されます。IE11以外のブラウザでは問題ありません。748159
- ❑ ビジネスビューの項目より「フォルダのモデル表示」を閉じた後に「TARGET_DEFAULT」というダイアログが表示されます。747890
- ❑ 項目数が1000以上あるマスターファイルを使用して操作する際、操作が遅延する場合があります。747129
- ❑ DBAエディタで条件式を入れようとすると変数の表記が「&&|TEST」のように不正な変数名となります。747967

データアップロード

データアップロードの既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Verticaへ日本語項目名を持つXLSXファイルのデータのアップロードをしようとするとエラーとなります。670846
- ❑ データアップロード時、「()」をファイル名に使用すると、エラーメッセージが表示されアップロードできません。748062

Webコンソール

WebFOCUSコンソールの非互換、注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ Webコンソールでシノニムを作成する際に、「#」を含むシノニム名を指定すると、「_」に変換されシノニムが作成されます。559185
- ❑ セキュリティPTHのプロパティ「security_scope」がWebコンソールのメニューから無くなりました。747825
- ❑ カスタムページ作成のメニューは廃止されました。748094
- ❑ バージョン8.2.06では、[アプリケーションディレクトリ]フォルダが無くなりました。インパクト分析等のメニューを使用する場合は、任意のアプリケーションを右クリックし、メニューを選択してください。747501
- ❑ Reporting ServerのCODE PAGEをUTF-8やShift-JISに変更する場合、必ずWebコンソールからNLSの構成で「保存して再起動」を実行してください。WF7610-11
- ❑ Webコンソールのアクセスコントロールタブでユーザを作成、編集、削除した場合、すべてのアイドルエージェントが停止されます。599052
- ❑ Webコンソールのコアエンジンシステム変数のその他のシステム変数メニューより表示される「FOCSECUSER」のヘルプのリンクは正常に動作しません。602397
- ❑ 外部リポジトリのWebFOCUS Client REST接続にマッピングしたアプリケーションディレクトリに新規作成したシノニムを検索するとFOC205またはFOC3601エラーになります。また作成されたシノニム名にDBCSがあると文字化けします。747987

- ❑ Webコンソールにてアプリケーションディレクトリを新規作成、削除などの操作をするとbaseappが最下部に移動します。747703
- ❑ Webコンソールからサンプルデータの数値項目をソートしても正しく動作しません。750728

Resource Analyzer

ResourceAnalyzerの既知の問題点、注意点は次のとおりです。

- ❑ RMLDBを検索する処理が含まれているプロシジャはResource Analyzerでロギングされません。749659
- ❑ TABLEリクエストで、FULL OUTER JOIN後にレポート出力すると、「(FOC32682) FULL/RIGHT JOINはSHORTPATH=SQL でのみサポートされます。」のエラーが出て結果が表示されません。ただし、Resource Analyzerのログには、SMQUERY、SMFROMS SMRELTNSも正しくレコードが生成され、SMQUERYのSCollect=0(モニタ)、SMALLROWS=0(正常終了)のレコードが生成されます。672898
- ❑ モニタ対象のプロシジャ内でSQLパススルーでのレポートを作成している場合、ORDER BYにDECODE関数が含まれるとログが取得されませんでした。8.1.05M(Server 7.7.06M GEN928)以降、ロギングされるようになりました。666335
- ❑ Resource AnalyzerのリポジトリにPostgreSQLを使用し、バルクロードでアーカイブ処理を行うとアーカイブに失敗します。747740
- ❑ Windows環境のResource AnalyzerのリポジトリDBをVerticaで構成し、環境変数にVSQL_HOMEを設定後、アーカイブしてもVSQLでのアーカイブエラーとなり、TABLE LOAD(通常ロード)として動作します。745153

Quick Data

Quick Dataの既知の問題と注意点は次のとおりです。

- ❑ Quick Dataでプロシジャのドリルダウンが設定できません。制限事項です。619915
- ❑ Quick Dataでドリルダウンの設定がされている場合、スタイルの変更が反映されません。制限事項です。619922
- ❑ Quick Dataを使用した際に表示されるマスターファイル一覧で、日本語のマスターファイル名の下部が文字切れします。(が表示されません) 671441
- ❑ Quick DataでXLSX FORMULAに設定し保存するとレポートが生成できません。749568
- ❑ Quick DataでFORMAT EXCELを指定し、保存すると文字化けします。746213
- ❑ Quick DataでセキュリティがReporting Serverの場合、サーバに接続できません。748594
- ❑ Quick Dataにて、Webサーバに接続後「戻る」または「キャンセル」をクリックして再度Webサーバにログインを行うとスクリプトエラーが発生します。747822
- ❑ SJIS構成のHTMLファイルをQuick Dataから呼び出すことができません。747756

WebFOCUS国際言語サポート

国際言語サポートの既知の問題は次のとおりです。

- Linux環境では、大文字、小文字が混在したファイル名、シノニム名、アプリケーションフォルダ名の指定はサポートされません。504599

禁止文字

ファイル名、フィールド名、シノニム名、アプリケーションフォルダ名、ドメインのフォルダ名に以下の文字は使用しないでください。

全角小文字アルファベット (a、b、c)	半角アルファベット + 数字 (例:C1、C3)
ローマ数字小文字 (i、ii、iii)	半角スペース
半角、全角アットマーク (@、@)	円記号、ドル記号 (\、\$)
疑問符 (?)	感嘆符 (!)
アンパサンド (&)	大括弧 (「 」)
中括弧 ({ })	小括弧 (())
等記号 (=)	不等記号 (< >)
プラス (+)	ハイフン (-)
星印 (*)	斜線 (/)
チルダ (~)	縦線 ()
二重引用符 (“ ”)	引用符 (')
セミコロン (;)	コロン (:)
コンマ (,)	ピリオド (.)
アクセント符号 (`、^)	ベータ (β)
シャープ (#)	

ただし、ユーザ名とグループ名は、ハイフン (-)の使用は可能です。また、アンダースコア(_)の使用も可能です。

予約語

以下の文字はWebFOCUSでは予約語として認識しますので、ファイル名、フィールド名、シノニム名、アプリケーションフォルダ名に使用しないでください。588646

ABS、AUTOPATH、ACCESS、ACROSS、ADD、AGAIN、ALIAS、ALL、ALTER ALLOC、ANALYSE、AND、ANY、AS、ASC、AUTHORIZATION、AVG、ANOVA
--

ASQ、AVE、AUTOINDEX
BEGIN、BETWEEN、BINARY、BACK、BIN、BINS、BIT、BOTH、BY
CALL、CASE、CAST、CHAR、CHANGE、CHARACTER、CHECK、CLOSE、 OALCESCE、COLFETCH、COMMIT、CONCAT、CONNECT、 CORRESPONDING、COUNT、CREATE、CROSS、CURRENT、CURSOR、 CLEAR、CNT、CO、COLUMN、COLUMN-TOTAL、COMBINE、COMMIT、CONCAT、 COMPILE、COMPUTE、CDN、CONSULT、CONTAINS、CONTINUE、CORRE、CREATE、 CRTFORM、CT
DATABASE、DATE、DATETIME、DAY、DAYS、DEALLOCATE、DEC、 DECIMAL、DECLARE、DBA、DECRYPT、DEFINE、DEL、DELETE、DUPL、 DT、DST、DESCRIPTION、DIS、DISPLAY、DMTY、DMY、DMYY、DEFAULT、 DESC、DISTINCT、DO、DOUBLE、DROP
ENCRYPT、END、EQ、EX、EXCEEDS、EXCLUDES、EXEC、EXIT、EXPLAIN EXSMO、EXTSORT、ECHO、EDIT、ELSE、ELSEIF、END、ESCAPE、 EXCEPT、EXECUTE、EXISTS
FORMAT、FREEFORM、FROM、FST、FIELDNAME、FILE、FETCH、FLOAT、FOR、FOREIGN 、FULL、FUNCTION
GRAPH、GT、GTREND、GE、GOTO、GET、GRANT、GRAPHIC、GROUP
HIST、HOLD、HEADING、HIGHEST、HAVING、HOUR、HOURS
IF、IN、INCLUDES、INDEX、INPUT、INT、INVALID、IS、IS-LESS-THAN、 IS-MORE-THAN、IS-NOT、INCLUDE、I、IF、IMAGE、INCLUDE、INDEX、INDICATOR、 INNER、INOUT、INSERT、INTEGER、INTERSECT、INTO、IS、ITERAT
JOIN、JUMP
KEY
LE、LET、LINES、LINK、LIST、LOC、LOCATE、LOG、LST、LT、LAST、 LEADING、LEAVE、LEFT、LIKE、LOCK、LOGICAL、LONG、LOOP
MARK、MATCH、MAX、MDISC、MDY、MDYY、MIN、MAINTAIN、MORE、 MODIFY、MOVE、MSG、MT、MTDY、MULTR、MULTI-PATH、MAX、 MICROSECOND、MICROSECONDS、MILLISECOND、MILLISECONDS、 MINUTE、MINUTES、MONEY、MONTH、MONTHS
NE、NEXT、NOMATCH、NOPRINT、NOT-FROM、NOTOTAL、N、NATURAL、 NOT、NULL、NULLIF、NUMBER、NUMERIC

OM、OMITS、ON、ONLINE、OR、OVER、OFFLINE、OF、ONLY、OPEN、OPTIMIZE、OPTION、ORDER、OUT、OUTER
PAGE-BREAK、PANEL、PASS、PAUSE、PCT、PICKUP、PIE、POLRG、PRINT、PROMPT、PAGE、PACKAGE、PERCENT、PLAN、PRECISION、PREPARE、PRIMARY、PROCEDURE、PROGRAM、PURGE
QUIT、QUERYNO
RANKED、REBUILD、READLIMIT、RECAP、RECOMPUTE、RECORDLIMIT、RECTYP、RECTYPE、REORG、REPLACE、REPLLOT、RESTRICT、RETYPE、ROLLBACK、ROW、ROW-TOTAL、ROWS、RPCT、REPAGE、RAW、REAL、REFERENCES、REPEAT、RESET、RETURN、RETURNS、REVOKE、RIGHT、ROLLBACK
SAVE、SCAN、SEG、SEGMENT、SEGNAME、SET、SHOW、SKIP-LINE、SQRT、ST、STATSET、STOR、STORE、SUB-TOTAL、SUBFOOT、SUBHEAD、SUBTOTAL、SUMMARIZ、SUPPRINT、SAVB、SCHEMA、SECOND、SECONDS、SELECT、SERIAL、SMALLFLOAT、SMALLINT、SOME、STOGROUP、SUM、SYNONYM、SYSNAME
TABLEF、TED、TEMP、TLOCATE、TO、TOP、TOT、TOTAL TRACE、TYPE TABLE、TABLESPACE、TEXT、THEN、TIME、TIMESTAMP、TRAILING、TRUNCATE
UP、UPDATE、USAGE、USE、USER、UNDERLIN、VALIDATE、UNION、UNIQUE、UNTIL、UPDATE、USER_TYPE_NAME、USING
VALUES、VARBINARY、VARCHAR、VARGRAPHIC、VARYING、VIEW
WHERE、WITHIN、WRITE、WHEN、WHILE、WITH、WORK
XFER
YMD、YMTD、YYMD、Y、YEAR、YEARS

「WF」、「DT」、「FOC」、「DATE」から始まる名称

FIELDNAME、ALIAS、TABLENAMEでサポートされる特殊文字について

サポート対象の特殊文字は以下の表のとおりです。

○: サポート対象 ×: サポート対象外

項番	特殊文字	Shift_JIS	UTF-8	サポート
1	、	0x8141	E38081	○
2	。	0x8142	E38082	○
3	，	0x8143	EFBC8C	×
4	．	0x8144	EFBC8E	×
5	▪	0x8145	E383BB	○
6	：	0x8146	EFBC9A	×
7	；	0x8147	EFBC9B	×
8	？	0x8148	EFBC9F	×
9	！	0x8149	EFBC81	×
10	～	0x8160	E3809C	○
11	｜	0x8162	EFBD9C	×
12	‘	0x8165	E28098	○
13	’	0x8166	E28099	○
14	“	0x8167	E2809C	○
15	”	0x8168	E2809D	○
16	（	0x8169	EFBC88	×
17	）	0x816A	EFBC89	×
18	「	0x8175	E3808C	○
19	」	0x8176	E3808D	○
20	<	0x8183	EFBC9C	×
21	>	0x8184	EFBC9E	×

22	¥	0x818F	EFBFA5	×
23	\$	0x8190	EFBC84	×
24	#	0x8194	EFBC83	×
25	&	0x8195	EFBC86	×
26	@	0x8197	EFBCA0	×
27	☆	0x8199	E29886	○
28	β	0x83C0	CEB2	×

WebFOCUSセキュリティ

WebFOCUSセキュリティの既知の問題、注意点は次のとおりです。

- ❑ 管理コンソールから「IBI_Reset_Account_Lockout_Counter」に値を設定しても、設定値の時間経過後、ログイン失敗回数がリセットされません。このエラーは、テキストエディタによるアラートテストの作成、または編集を行う権限のあるユーザには影響を及ぼすことはありません。[484689](#)
- ❑ Windows認証構成時にsecuritysettings.xmlの編集を行い、「管理コンソール」の「リモートサービス」でHTTP404エラーが発生します。[571055](#)
「管理コンソール」の「リモートサービス」変更→securitysettings.xmlの編集の順番に設定することで、HTTP404エラーが発生しません。
- ❑ Reporting Serverをセキュリティモード (OPSYS,PTH) で起動している場合、パブリックアクセスが有効/無効によって表示される Reporting Serverの認証画面が異なります。[603695](#)
- ❑ セキュリティセンターからデフォルトの管理者ユーザ「admin」(自分自身)が、Administratorsグループから外せるため、その結果adminユーザは管理者としてログインできなくなりますので、ご注意ください。[599225](#)
- ❑ WebFOCUSのパブリックアクセスを無効にすると、HTMLコンポーザで作成した画面で以下のエラーが発生します。[498246](#)
「 Webページからのメッセージ: javascript エイリアス '/ibi_apps/ibi_html' が有効ではありません。」
- ❑ App Studioで作成したHTMLをURLより実行した際に、「Reporting Server」のログイン画面からログインした後にHTML画面に、以下メッセージと「close」ボタンが表示されますが、「close」ボタンをクリックしても画面が閉じません。
「正常にログインしました。」
また、動的、静的の各種コントロールを含むHTML画面の実行時に、該当のメッセージ、ボタンが表示された場合に、コントロールが機能しない事象が発生します。その場合は、HTML画面をリフレッシュしてください。[670620](#)
- ❑ 匿名認証の設定がデフォルトで無効に変更になりました。このためデフォルト設定ではApp Studioで作成したHTMLをURLで実行すると「エイリアス'/ibi_apps/'が無効です。」と表示されます。[749569](#)
- ❑ 8.2以降では、ListAndReadロールに「Run Procedures(Run Resource)」権限が付与されるようになりました。[737784](#)

ホームページ

ホームページの注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ ホームページから、検索条件に一部特殊文字を使用すると結果が検索できません。例:「)(+\\」
[748391](#)

- ❑ ホームページからデータアップロードを使用しExcelをロードしようとした際に、ロードオプションにてXLSX – Excelを選択すると「項目が存在しません」のエラーが表示されます。747758
- ❑ IE11ではホームページ上の非公開のサムネイルがカラー表示になります。(IE11以外のブラウザでは、非公開のサムネイルはモノクロで表示されます。)747754
- ❑ IE11でホームページへのログイン時に、JavaScriptエラーレポートを有効にしていると、403エラー表示やエラーレポートのダウンロードバーが出る場合があります。747586

デザイナー

デザイナーの注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ ページにて、コントロールフィルタを追加した際にグローバル名に日本語名は指定できません。749560
- ❑ ページでフィルターコントロールを追加した際に、選択肢「すべての値」が「All Values」となり、選択しても実行されません。749559
- ❑ ポータルのページの翻訳ファイルをダウンロードして正常に解凍するには、UTF-8のファイル名に対応した解凍ソフトを使用してください。例) Bandzip 749557
- ❑ レポートオブジェクトでJOIN先のマスターファイルのフィールドをWHEREに設定し、条件に「実行時に複数値を選択」に設定してもデザイナーページのフィルタにはドロップダウンリストが表示されません。749555
- ❑ ページでセルコンテンツの配置が動作しません。749353
- ❑ SJIS環境にてデザイナー・ポータルのテーマにミッドナイトを使用した時、作成したポータルを実行すると、フィルタの値が表示されないことがあります。748091
- ❑ ページにてテキストコントロール文字の大きさの変更で「見出し5」と「タイトル」の差異がありません。747978
- ❑ IE11で全画面表示しない状態でデザイナーのポータルを新規作成すると、画面上部に一瞬赤い帯が表示されます。ウィンドウを最大化にするか、IE以外のブラウザを使用してください。747450
- ❑ ポータルにて、エイリアス名まで作成されたポータルのタイトルと名前を変更して実行すると404エラーで表示できません。746023
- ❑ 8.2.06 では デザイナーのブック、グラフ、レポートはテクニカルプレビュー版です。750744

インサイト

インサイトの注意点、既知の問題は次のとおりです。

- ❑ インサイト実行設定したグラフをページに挿入し、タイトルバーを非表示にするとインサイトボタンがオプションボタンが 重なりインサイト実行ができません。747375

WebFOCUS

WebFOCUS リリースノート
Version 8.2.06

2019 年 10 月 発行

株式会社 アシスト

〒 102-8109 東京都千代田区九段北 4-2-1 市ヶ谷東急ビル

TEL: 03-5276-5863

URL: <http://www.ashisuto.co.jp>